



機械設備工事 特記仕様書

I 工事概要
1. 工事場所 上田市内各小学校

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数(階), 延面積(m2), 消防法施行令別表第一の区分, 耐震分類, 備考. Includes '小学校' entry.

Table with columns: 方法及び種別, 設備概要. Lists air conditioning methods like 'ガス焚吸収式', '空冷ヒートポンプ'.

Table with columns: 番号, 図面名称, 番号, 図面名称. Lists drawings like '機械設備 特記仕様書 1'.

- II 工事仕様
1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁事務部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工編) (最新年度版)」(以下、「標準仕様書」という)、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工編) (最新年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工編) (最新年度版)」(以下、「標準図」という)による。

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. General project information.

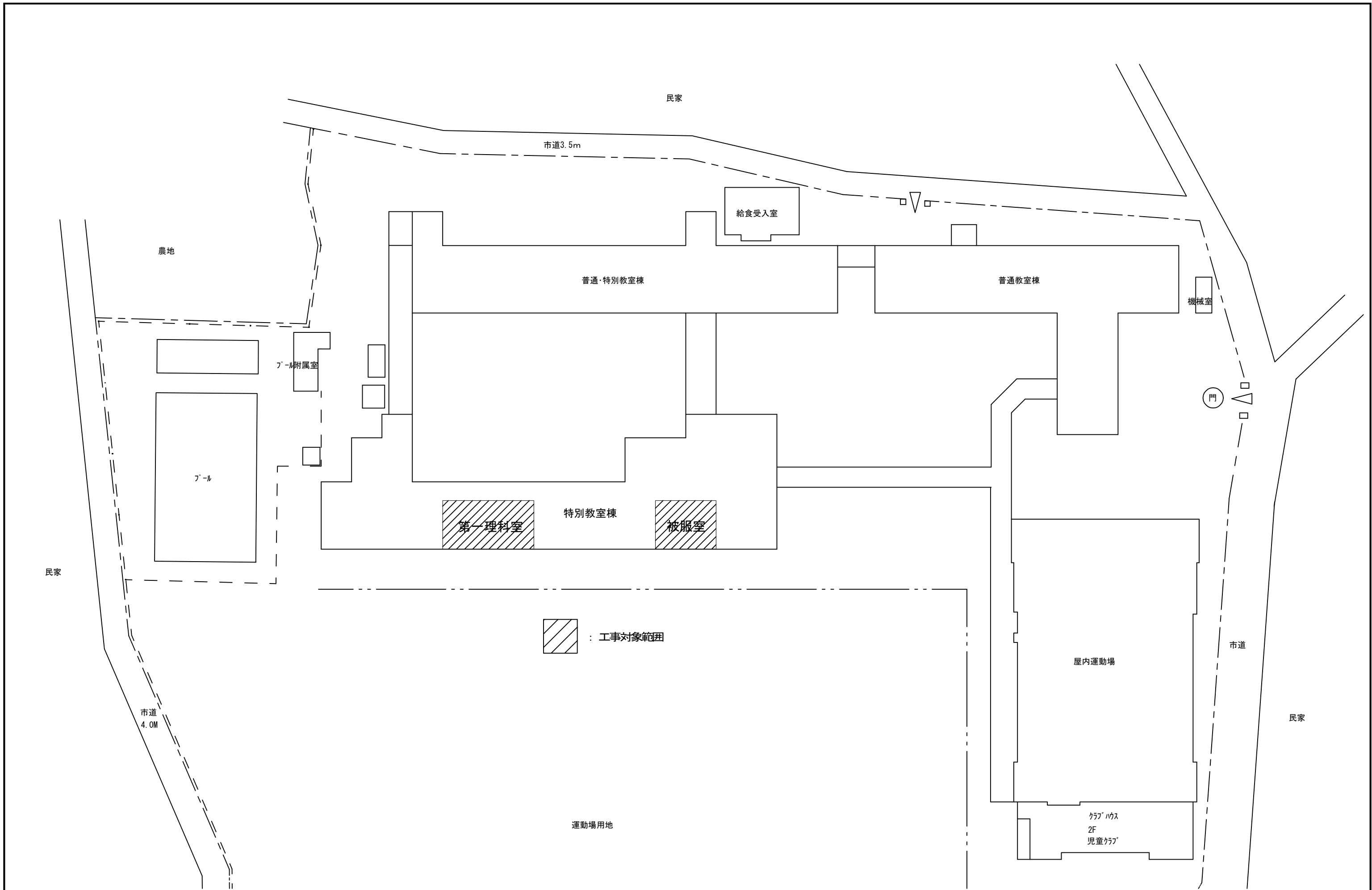
Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Detailed technical requirements for materials, equipment, and safety.


Table with columns: 図面番, 仕様, 備考. Lists specific equipment and material specifications such as '電気保安技術者', '配管', '断熱材'.

Table with columns: 仕様, 備考. Lists specific equipment and material specifications such as '保温及び清内貼り', '排水管', '防凍保温', '試験'.

Table with columns: 仕様, 備考. Lists specific equipment and material specifications such as '給水設備', '排水設備', '給湯設備', '清掃設備', '厨房設備', 'ガス設備', 'その他', '安全対策関係', '工事検査', '被覆層等', '施工図等の取扱い', '完成図等', '提出物'.



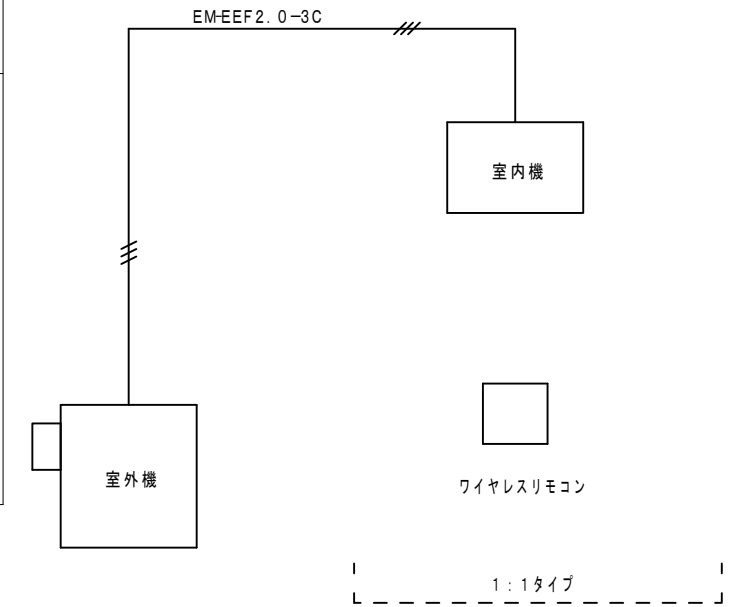


 上田市都市建設部建築課	設計年度	Atelier Hues of the Wind	設計事務所	長野県知事登録 (上田)E第74101号	設計者	1級建築士	工事名 小学校特別教室空調設備設置工事 図名 神川小学校 配置図	SCALE 1/500	NO. M-01 神川
	R-08	一級建築士事務所 有限会社 設計工房風の色	名称 住所 代表者	有限会社 設計工房風の色 上田市真田町本原2113-1 飯島康男	国土交通大臣登録 第187506号 飯島康男				

機器表

\* EHPについては、『建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件の一部改正する告示（平成24年1447号）』により固定を行う事。

番号	名称	参考型番	数量	機器仕様	電源			設置場所
					φ	V	空調=KW	
EHP-4	店舗・オフィスエアコン	PKZ-ERMP80SKL5 (三菱)	4	壁掛け形 冷房能力=7.1(2.0~8.0)KW 暖房能力=8.0(2.0~10.2)KW ワイヤレスリモコン 圧縮機:1.6KW 室内機外形寸法=365h x 1170 x 295(21Kg) 室外機外形寸法=740h x 950 x 330(59Kg) 鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ)	1	200	冷:2.3 暖:2.22 (標準) 暖:2.95 (低温)	第1理科室 調理室
				他標準附属品				
				防振パット				



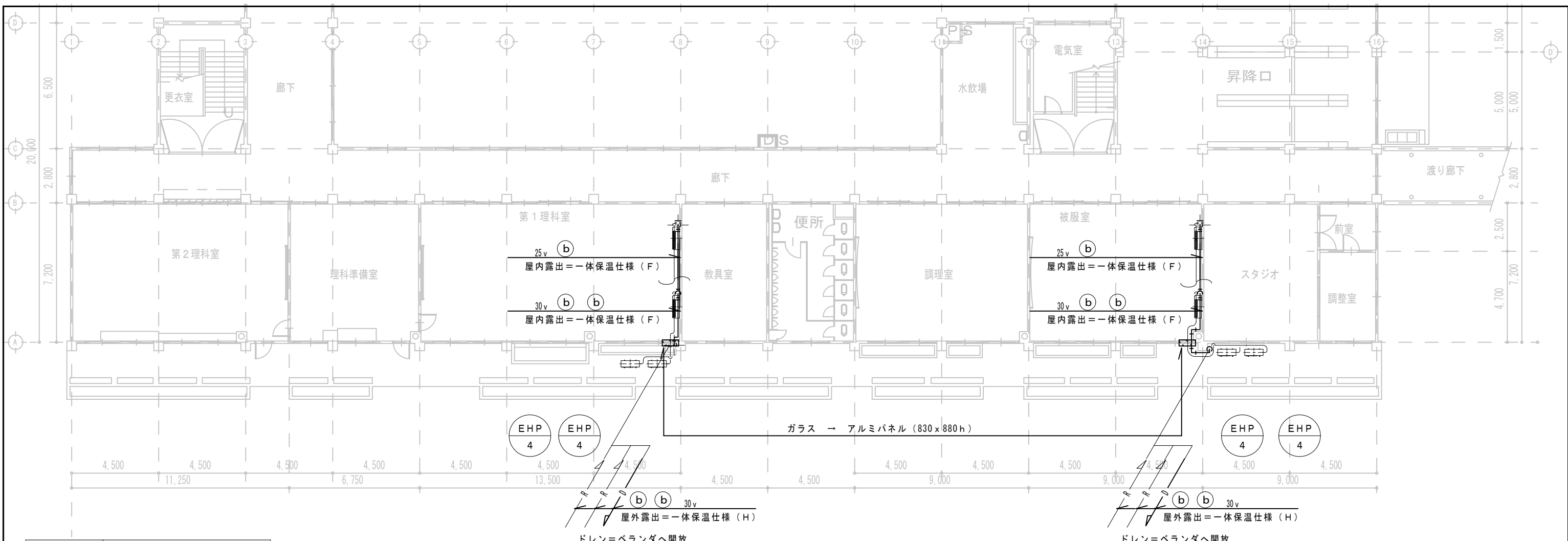
■ 使用配管材		給水管	給水管	屋外排水	屋外排水	給湯管	ガス管	冷媒管	ドレン管	冷温水管	給油管	消火管
配管材料 該当する区別欄に ●印を記入のこと												
水道用ポリエチレン管	JISK-6762											
硬質塩化ビニル管	VP JISK-6741							●				
"	VU JISK-6741											
水道用耐衝撃性 硬質塩化ビニル管	HivpJWWA-K118											
ポリブテン管	JIS K6792 JIS K6778											
耐熱性塩化ビニル管	HTVP											
水道用塩ビ ライニング鋼管	(黒) JWWA K-116VA											
"	(白) (VB)											
"	(VD)											
耐熱性硬質 塩ビライニング鋼管	HTLP											
"	WHTLP											
配管用炭素鋼鋼管	(黒) JIS G-3452											
"	(白) "											
鋼線目黒管	L JIS H-3300											
"	M "											
冷媒用被覆鋼管	国土交通省標準仕様適合品							●				
ACドレンパイプ	空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管											

■ 配管保温防露仕様		屋内隠ぺい	屋内露出	機械室	屋外露出
仕様					
1 給水管					
2 排水管					
3 給湯管					
4 消火管					
5 冷温水管					
6 冷媒管			F		H
7 ガス管					
8 給油管					
9 ドレン管			F		H
A ワンタッチ式ポリエチレンフォーム					屋内隠ぺい
B グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔					屋内隠ぺい
C グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網					屋内隠ぺい
D グラスウール保温帯+鉄線+原紙+ (アルミガラスクロス)					屋内露出
E グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網+ヒーター					屋内露出
F グラスウール保温帯+鉄線+合成樹脂カバー					屋内露出
G グラスウール保温帯+鉄線 (ガラスクロス)					屋内露出
H グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+SUS鋼板					屋外露出
I グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
J 発泡プラスチック保温帯+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
K グラスウール保温帯+カラー鉄板+ヒーター巻					屋外露出
L グラスウール保温帯+鉄線+アスファルトルーフィング+アスファルトジュートテープ+アスファルトプライマー					埋設
M グラスウール保温材+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス					ピット
*給水・給湯管についてはグラスウール保温厚を 25mm以上とする。					


■ 工事区分					
工事区分 該当する区別欄に ●印を記入のこと	工事項目	区分			備考
		建築	機械	電気	
	1 鉄骨梁の貫通スリーブ				
	2 RC壁の機械ハツリ (ダイヤモンドカッター)	●			
	3 スリーブ・開口部周りの鉄筋補強				
	4 躯体壁・床の穴明け及び構造体補強				
	5 重量設備機器のための床構造補強				
	6 壁掛エアコン取付の床補強	●			
	7 天井穴明け及び下地補強	●			
	8 設備機器の基礎及び仕上	●			
	9 天井点検口の取付及び補強工事	●			
	10 空調用屋内外機器間配線工事	●			

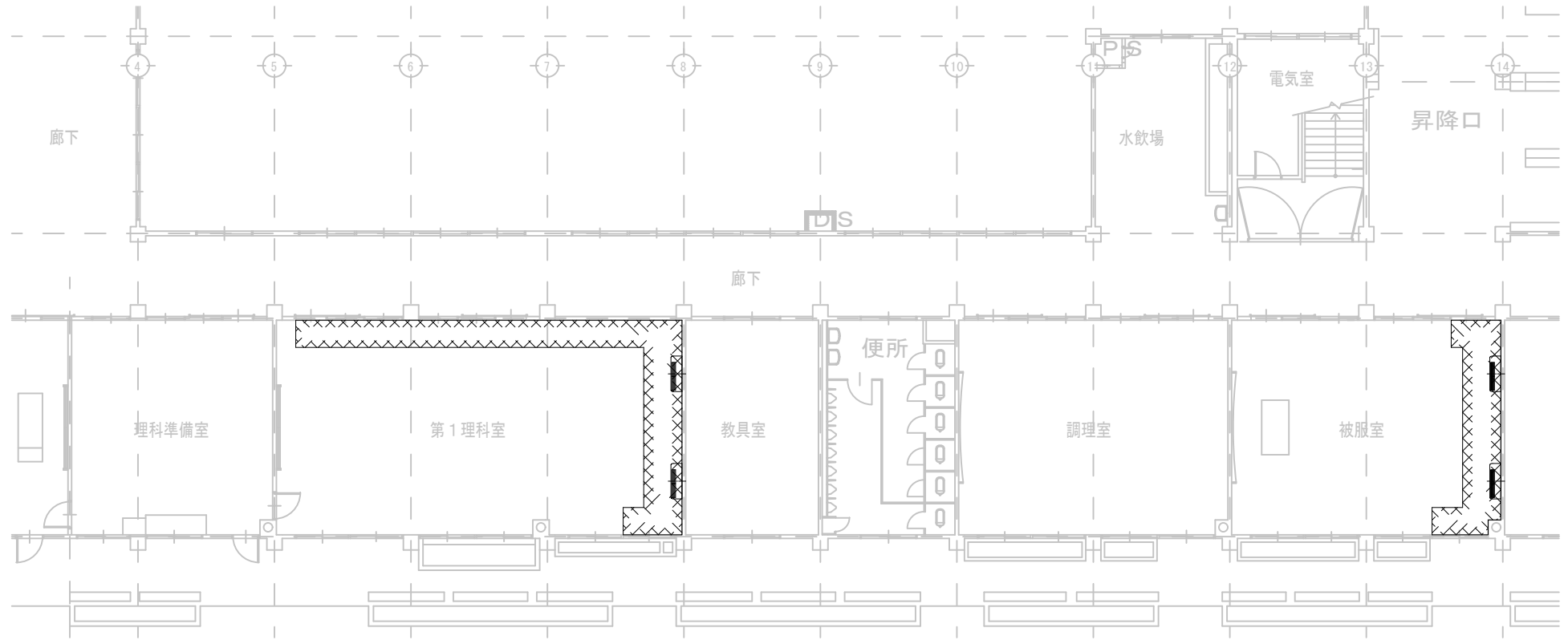
特記事項

1. 施工に当たり、既存設備の取り合い及び配管等を十分調査し 撤去又は改修を行う事。  
現場の納まり又は取り合い等で生じる機器及び器具、 取り付け位置及び取り付け方法の変更は 係員の指示によって行う。
2. 現場養生・清掃は 本工事とする。
3. 天井・壁取外し・再取付け及び改修は、本工事とする。
4. RC壁を、コア抜きをする場合は 鉄筋簡易検査を行う事。
5. アスベスト検査費用は、本工事とする。  
(処理費は、協議により計画する。)



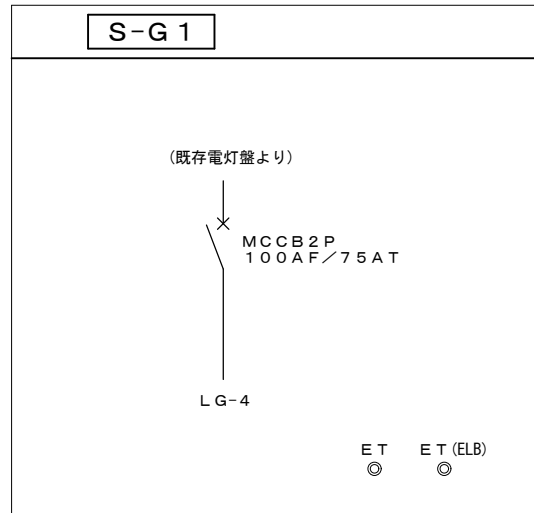
記号	配管サイズ
○ a	6.35 / 12.7
○ b	9.52 / 15.88
□ R	ワイヤレスリモコン
⊠	RC壁コア抜き (本工事)

- 凡例**
- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
  - \* 屋内露出ドレン管 (硬質塩化ビニル管) は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
  - \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
  - \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強: 構造合板 (1000 x 300 x 18 t)
  - \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
  - \* 養生範囲: 機器取付け及び配管作業部分の床面
  - \* 図示工事部分 (復旧、撤去材処分共) の施工後の清掃、片付け
-  床養生部分 (清掃、片付け共)

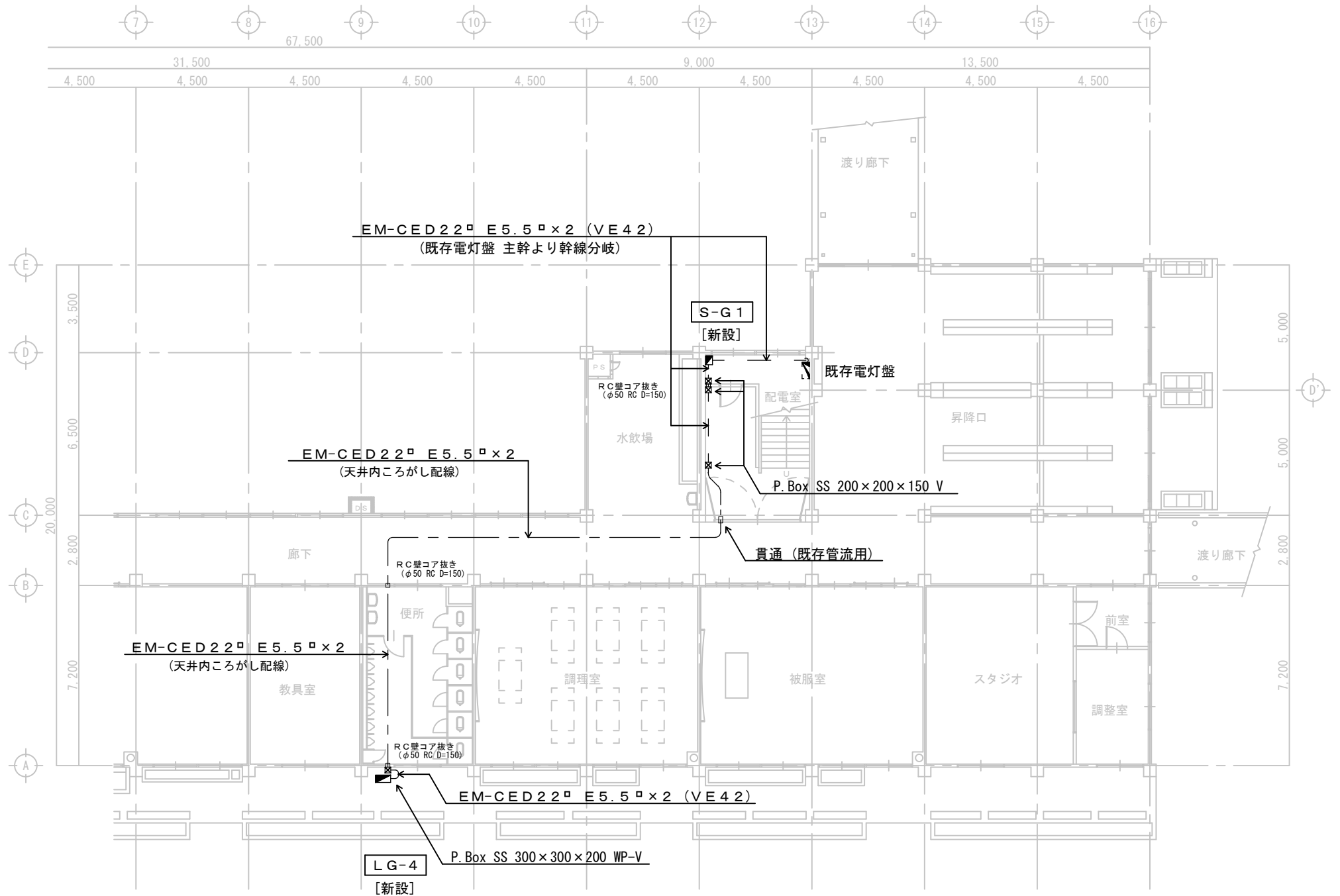
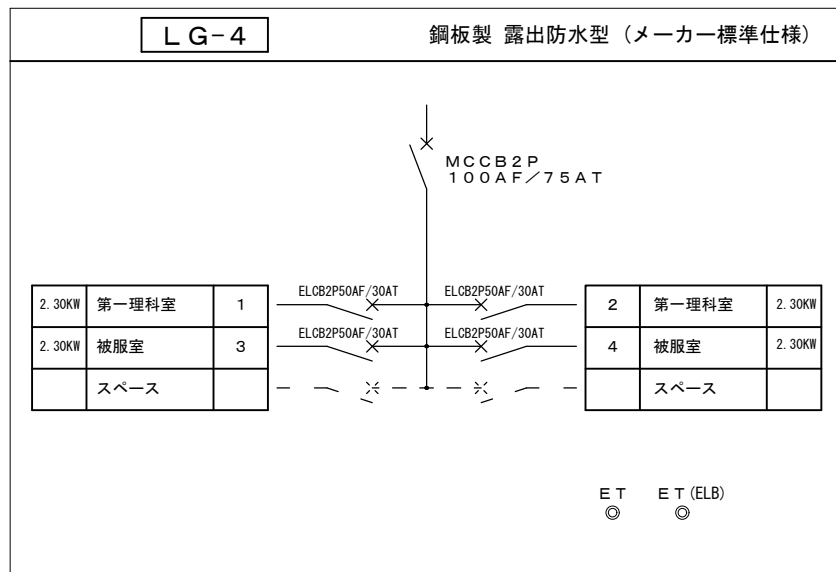


[注記]

1. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし  
本工事内にて適宜に処理すること。

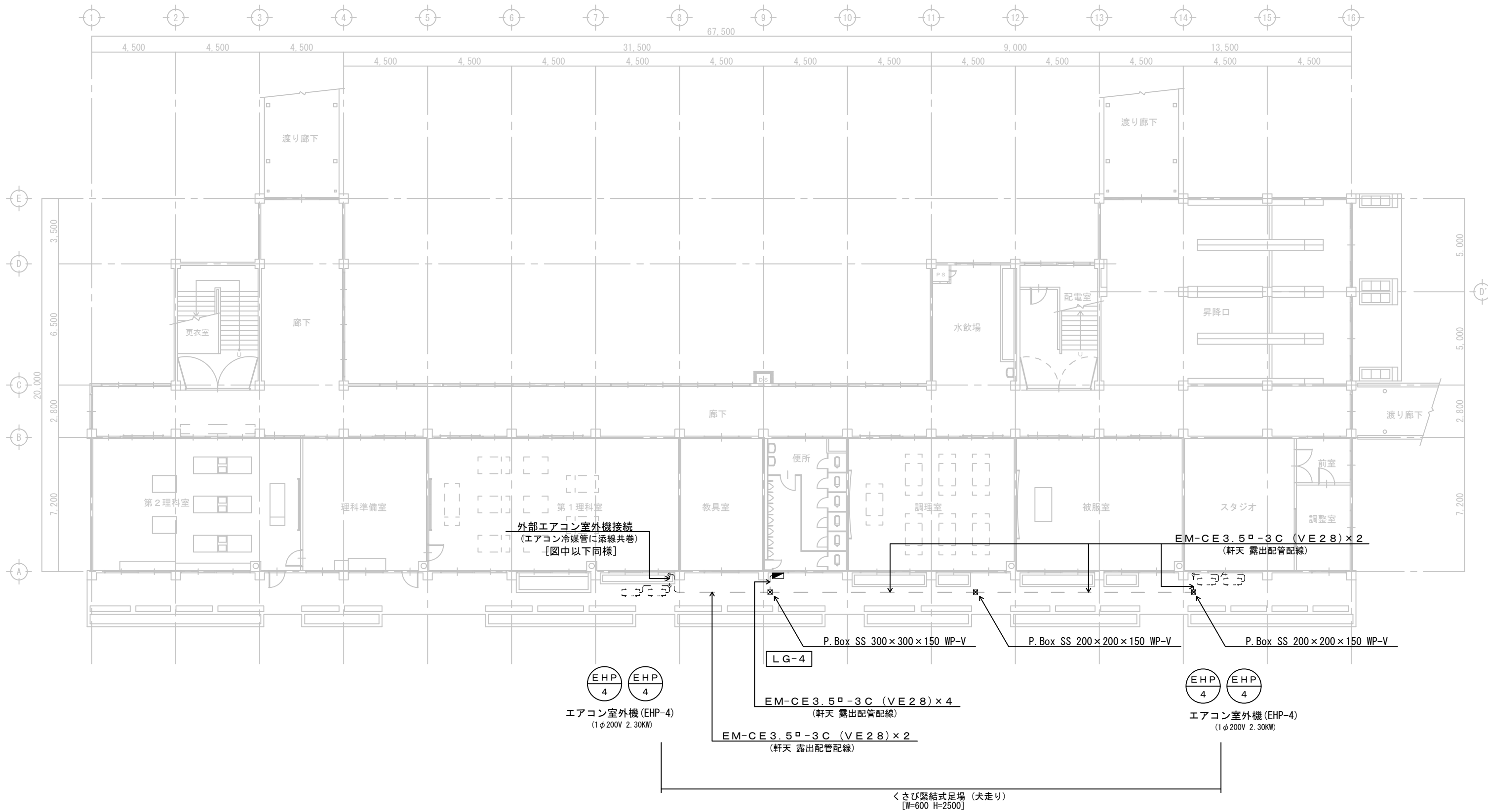


鋼板製 露出型 (メーカー標準仕様)



[注記]

2. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし  
本工事内にて適宜に処理すること。



上田市都市建設部建築課

設計年度  
R-08

Atelier Hues of the Wind  
一級建築士事務所  
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号  
名称 有限会社 設計工房風の色  
住所 上田市真田町本原2113-1  
代表者 飯島康男

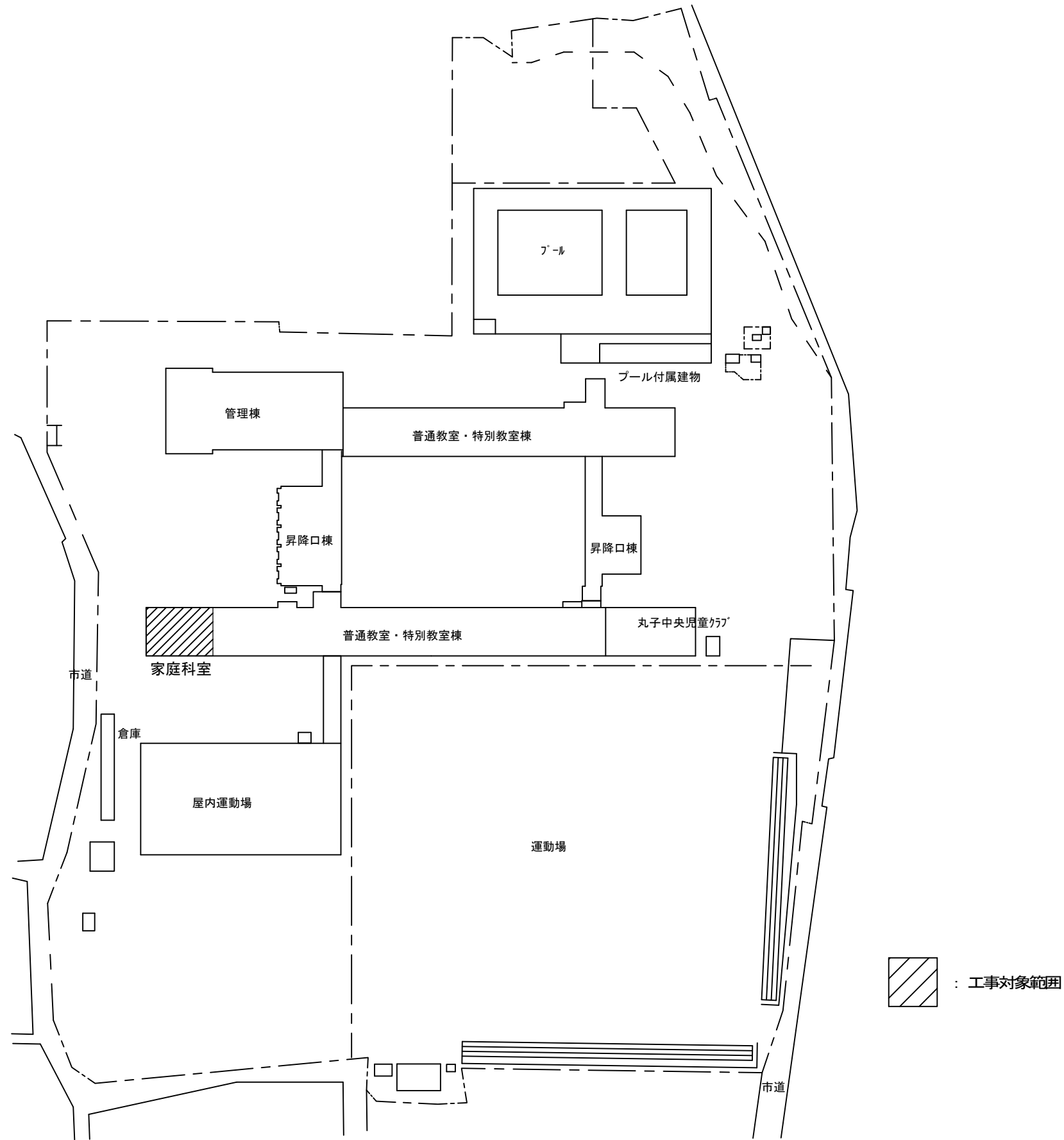
設計者 1級建築士  
国土交通大臣登録  
第187506号  
飯島康男


工事名  
図名

小学校特別教室空調設備設置工事  
神川小学校 特別教室棟1階平面図(2)

SCALE  
1/200

NO.  
E-02 神川

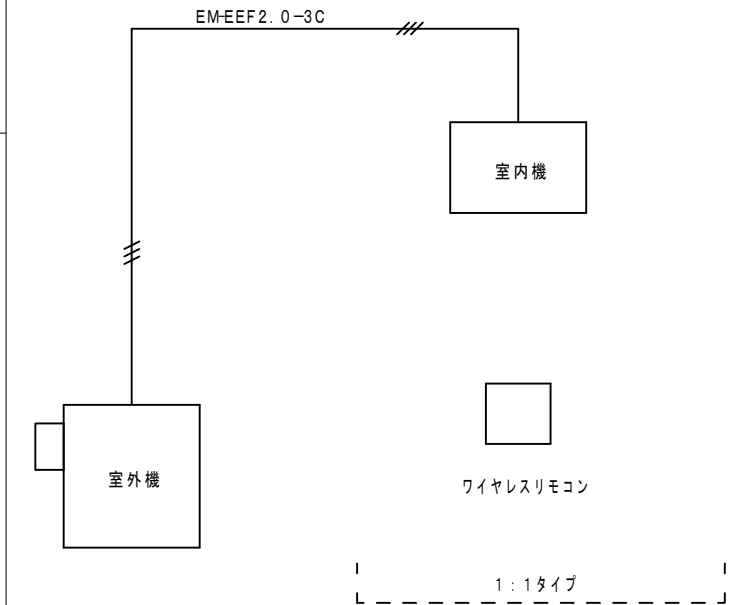


 : 工事対象範囲

機器表 2

\* EHPについては、『建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件の一部改正する告示（平成24年1447号）』により固定を行う事。

番号	名称	参考型番	数量	機器仕様	電源			設置場所
					φ	V	空調=KW	
EHP-3	店舗・オフィスエアコン	PCZ-ERMP112KL5 (三菱)	2	天吊形 人感センサー 冷房能力=10.0(4.3~11.2)KW 暖房能力=11.2(4.8~14.0)KW ワイヤレスリモコン 圧縮機:1.6KW 室内機外形寸法=230h×1600×680(38Kg) 室外機外形寸法=1018h×950×330(67Kg) 鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ)	3	200	冷:2.72 暖:2.85 (標準) 暖:5.87 (低温)	家庭科室



■ 使用配管材												
配管材料 該当する区別欄に ●印を記入のこと	規格	給水管 直圧部	給水管 タンク以降	屋外 排水	屋外 排水	給湯 管	ガス 管	冷媒 管	ドレ ン管	冷温 水管	給油 管	消火 管
硬質塩化ビニル管	VP JISK-6741								●			
水道用耐衝撃性 硬質塩化ビニル管	HivpJHWA-K118											
ポリブデン管	JIS K6792 JIS K6778											
耐熱性塩化ビニル管	HTVP											
水道用塩ビ ライニング鋼管	(黒) JWVA K-116VA											
"	(白) "											
"	(VD)											
耐熱性硬質 塩ビライニング鋼管	HTLP											
"	WHTLP											
配管用炭素鋼鋼管	(黒) JIS G-3452											
"	(白) "											
鋼継目無管	L JIS H-3300											
"	M "											
冷媒用被覆鋼管	国土交通省標準仕様適合品								●			
ACドレンパイプ	空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管											

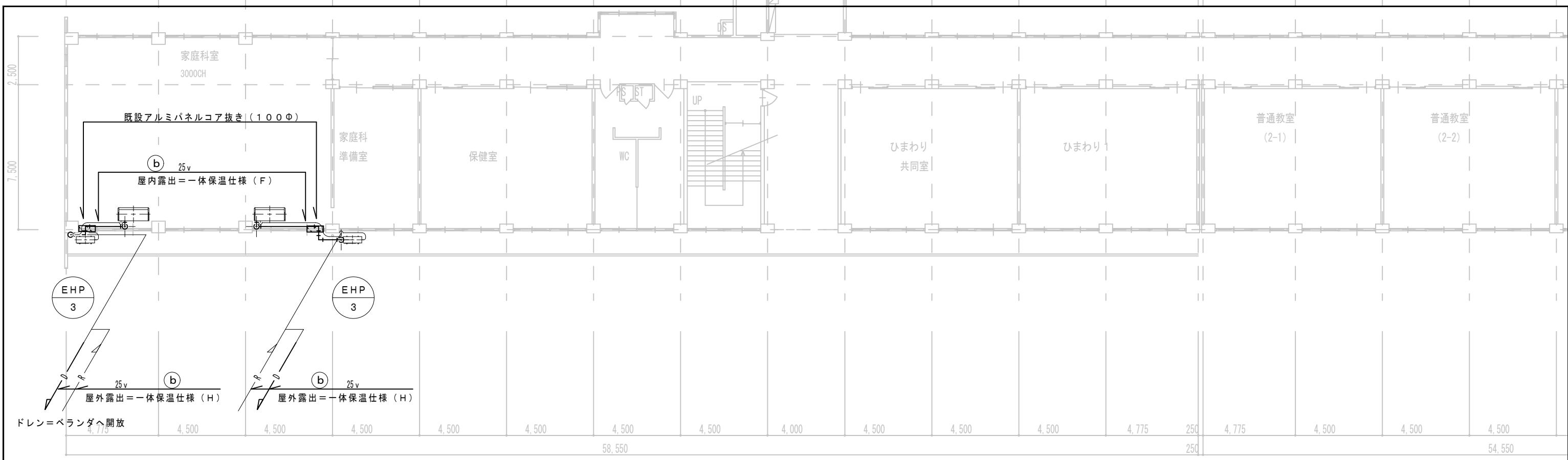
■ 配管保温防露仕様					
仕様	屋内隠ぺい	屋内露出	機械室	屋外露出	
1 給水管					
2 排水管					
3 給湯管					
4 消火管					
5 冷温水管					
6 冷媒管		F		H	
7 ガス管					
8 給油管					
9 ドレン管	—	F		H	
A ワンタッチ式ポリエチレンフォーム					屋内隠ぺい
B グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔					屋内隠ぺい
C グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網					屋内隠ぺい
D グラスウール保温帯+鉄線+原紙+(アルミガラスクロス)					屋内露出
E グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網+ヒーター					屋内露出
F グラスウール保温帯+鉄線+合成樹脂カバー					屋内露出
G グラスウール保温帯+鉄線(ガラスクロス)					屋内露出
H グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+SU5鋼板					屋外露出
I グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
J 発泡プラスチック保温帯+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
K グラスウール保温帯+カラー鉄板+ヒーター巻					屋外露出
L グラスウール保温帯+鉄線+アスファルトルーフィング+アスファルトジュートテープ+アスファルトプライマー					埋設
M グラスウール保温材+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス					ビット

\*給水・給湯管についてはグラスウール保温厚を 25mm以上とする。

■ 工事区分					
工事区分 該当する区別欄に ●印を記入のこと	工事項目	区分			備考
		建築	機械	電気	
1	鉄骨梁の貫通スリーブ				
2	RC壁の機械ハツリ(ダイヤモンドカッター)	●			
3	スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強				
4	躯体壁・床の穴明け及び構造体補強				
5	重量設備機器のための床構造補強				
6	壁掛エアコン取付の下部補強	●			
7	天井穴明け及び下部補強	●			
8	設備機器の基礎及び仕上	●			
9	天井点検口の取付及び補強工事	●			
10	空調用屋内外機器間配線工事	●			


特記事項

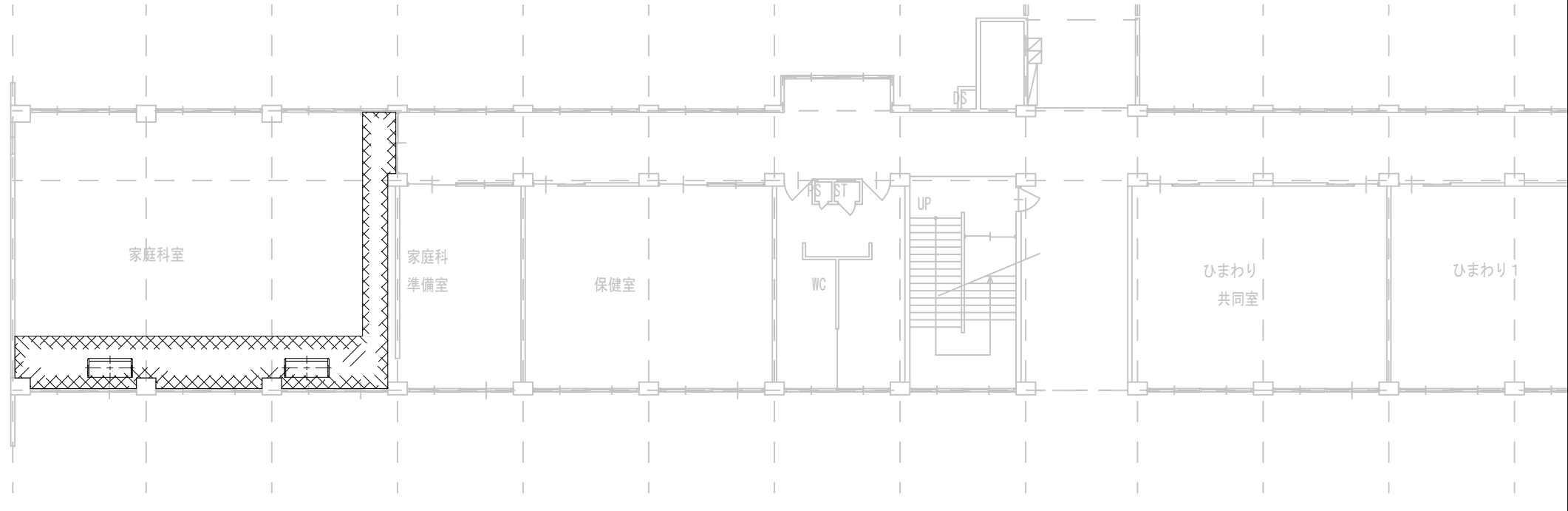
- 施工に当たり、既存設備の取り合い及び配管等を十分調査し 撤去又は改修を行う事。  
現場の納まり又は取り合い等で生じる機器及び器具、取り付け位置及び取り付け方法の変更は係員の指示によって行う。
- 現場養生・清掃は 本工事とする。
- 天井・壁取外し・再取付け及び改修は、本工事とする。
- RC壁を、コア抜きをする場合は 鉄筋簡易検査を行う事。
- アスベスト検査費用は、本工事とする。  
(処理費は、協議により計画する。)



記号	配管サイズ
○ a	6.35 / 12.7
○ b	9.52 / 15.88
□ R	ワイヤレスリモコン
⊠	RC壁コア抜き (本工事)

凡例

- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管（硬質塩化ビニル管）は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強：構造合板（1000 x 300 x 18 t）
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲：機器取付及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分（復旧、撤去材処分共）の施工後の清掃、片付け
- \*  床養生部分（清掃、片付け共）



[注記]

1. 図中記入なき配線は下記による。

— / — EM-CE 3.5<sup>□</sup>-4C (VE28)

2. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし

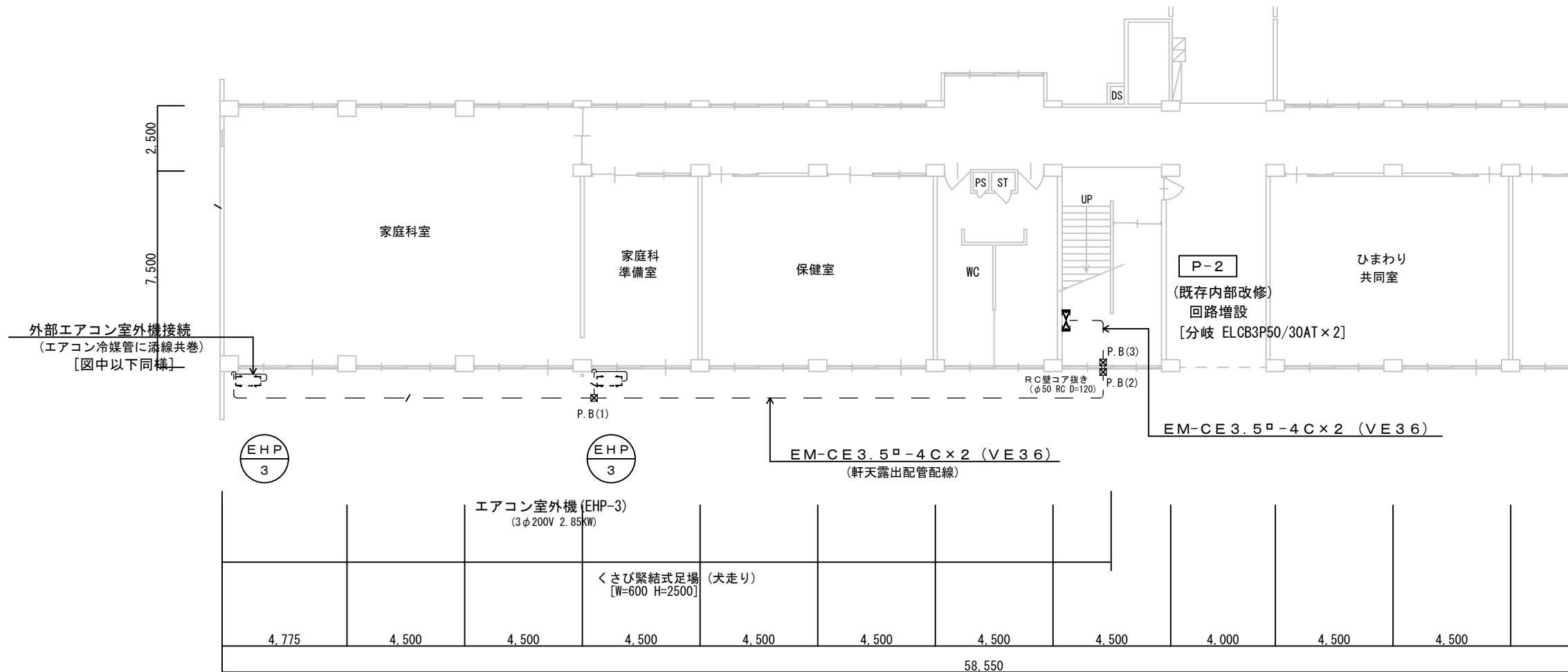
本工事内にて適宜に処理すること。

[凡例]

☒ P.B(1) プルボックス SS 200×200×150 WP-V

☒ P.B(2) プルボックス SS 200×200×200 WP-V

☒ P.B(3) プルボックス SS 200×200×200 V



上田市都市建設部建築課

設計年度  
R-08

Atelier Hues of the Wind  
一級建築士事務所  
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号  
名称 有限会社 設計工房風の色  
住所 上田市真田町本原2113-1  
代表者 飯島康男

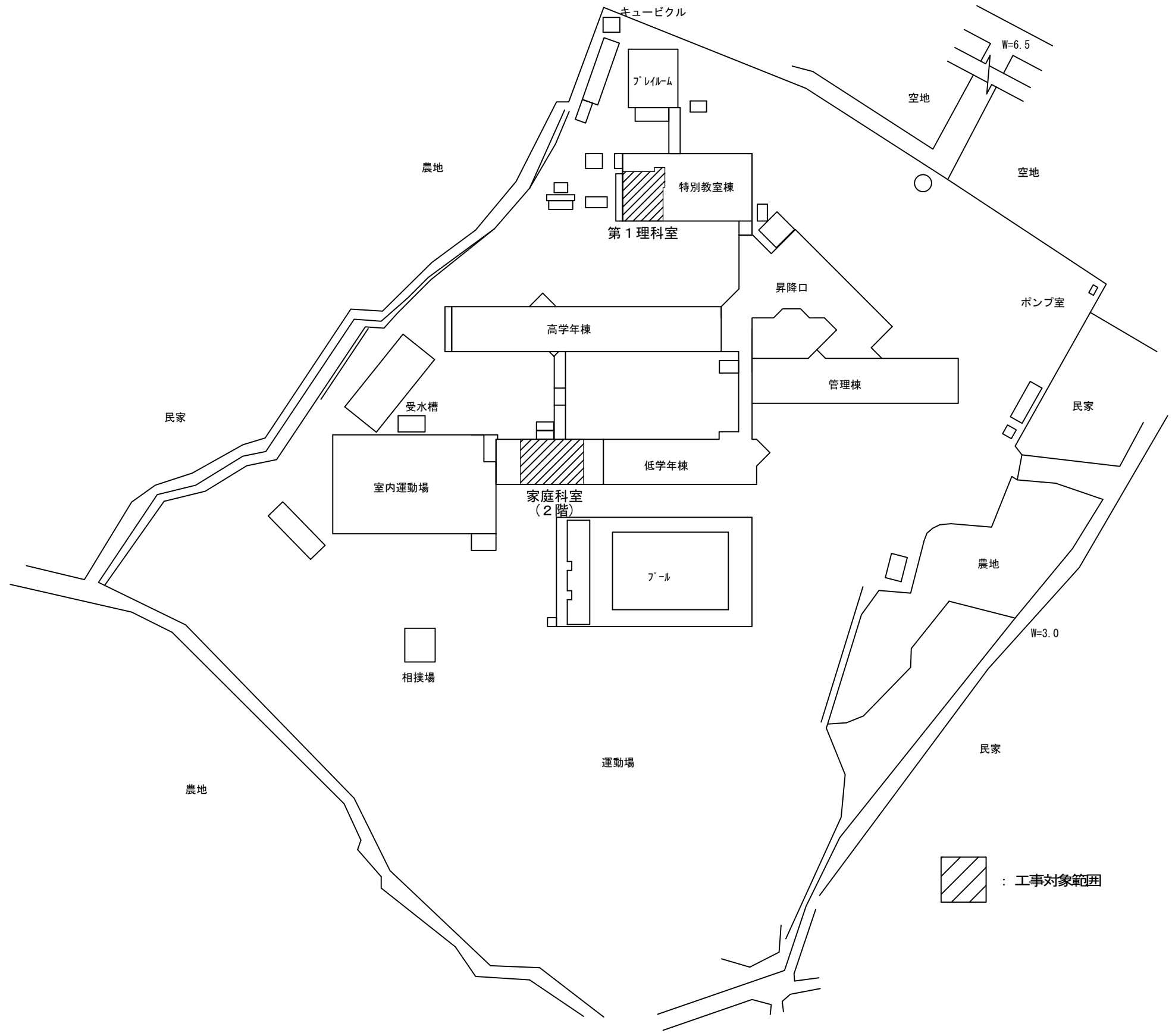
設計者 1級建築士  
国土交通大臣登録  
第187506号  
飯島康男


工事名  
図名


小学校特別教室空調設備設置工事  
丸子中央小学校 普通教室・特別教室棟1階平面図

SCALE  
1/200

NO.  
E-01 丸中



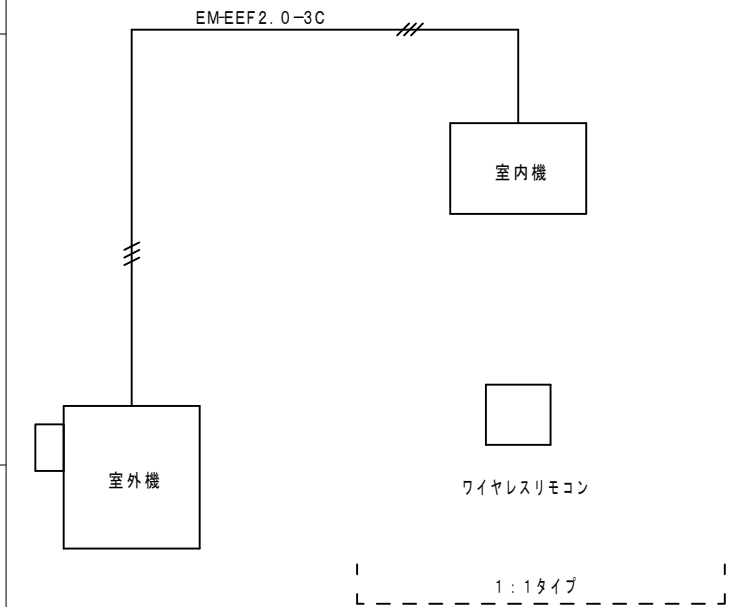
 : 工事対象範囲

 上田市都市建設部建築課	設計年度	Atelier Hues of the Wind	設計事務所	長野県知事登録 (上田)E第74101号	設計者	1級建築士	工事名	小学校特別教室空調設備設置工事	SCALE	NO.
	R-08	一級建築士事務所 有限会社 設計工房風の色	名称	有限会社 設計工房風の色	住所	国土交通大臣登録 第187506号	図名	丸子北小学校 配置図	1/1000	M-01 丸北

機器表

\* EHPについては、『建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件の一部改正する告示（平成24年1447号）』により固定を行う事。

番号	名称	参考型番	数量	機器仕様	電源			設置場所
					φ	V	空調=KW	
EHP-3	店舗・オフィスエアコン	PCZ-ERMP112KL5 (三菱)	2	天吊形 人感センサー 冷房能力=10.0(4.3~11.2)KW 暖房能力=11.2(4.8~14.0)KW ワイヤレスリモコン 他標準附属品 圧縮機:1.6KW 室内機外形寸法=230h x 1600 x 680(38Kg) 室外機外形寸法=1018h x 950 x 330(67Kg) 鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ) 防振パット	3	200	冷:2.72 暖:2.85 (標準) 暖:5.87 (低温)	第一理科室
EHP-3	店舗・オフィスエアコン	PCZ-ERMP112KL5 (三菱)	2	天吊形 人感センサー 冷房能力=10.0(4.3~11.2)KW 暖房能力=11.2(4.8~14.0)KW ワイヤレスリモコン 他標準附属品 圧縮機:1.6KW 室内機外形寸法=230h x 1600 x 680(38Kg) 室外機外形寸法=1018h x 950 x 330(67Kg) ブラケット架台(溶融亜鉛メッキ) 防振パット	3	200	冷:2.72 暖:2.85 (標準) 暖:5.87 (低温)	家庭科室



■ 使用配管材

配管材料 該当する区別欄に ●印を記入のこと	規格	給水管	排水管	給湯管	ガス管	冷媒管	ドレン管	冷水管	給油管	消火管	給水管	排水管	給湯管	ガス管	冷媒管	ドレン管	冷水管	給油管	消火管	
																				直圧部
水道用ポリエチレン管	JISK-6762																			
硬質塩化ビニル管	VP JISK-6741						●													
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HivJWWA-K118																			
ポリブテン管	JIS K6792 JIS K6778																			
耐熱性塩化ビニル管	HTVP																			
水道用塩化ビニルライニング鋼管	(黒) JWWA K-116VA (白) (VB) (VD)																			
耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	HTLP WHTLP																			
配管用炭素鋼管	(黒) JIS G-3452																			
鋼線目無管	L JIS H-3300 M																			
冷媒用被覆鋼管	国土交通省標準仕様適合品						●													
ACドレンパイプ	空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管																			

■ 配管保温防露仕様

仕様	配管保温防露仕様			
	屋内隠ぺい	屋内露出	機械室	屋外露出
1 給水管				
2 排水管				
3 給湯管				
4 消火管				
5 冷水管				
6 冷媒管		F		H
7 ガス管				
8 給油管				
9 ドレン管		F		H
A ワンタッチ式ポリエチレンフォーム				屋内隠ぺい
B グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔				屋内隠ぺい
C グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網				屋内隠ぺい
D グラスウール保温帯+鉄線+原紙+(アルミガラスクロス)				屋内露出
E グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網+ヒーター				屋内露出
F グラスウール保温帯+鉄線+合成樹脂カバー				屋内露出
G グラスウール保温帯+鉄線(ガラスクロス)				屋内露出
H グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+SUS鋼板				屋外露出
I グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板				屋内露出
J 発泡プラスチック保温帯+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板				屋外露出
K グラスウール保温帯+カラー鉄板+ヒーター巻				屋外露出
L グラスウール保温帯+鉄線+アスファルトルーフィング+アスファルトジュートテープ+アスファルトプライマー				埋設
M グラスウール保温材+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス				ピット

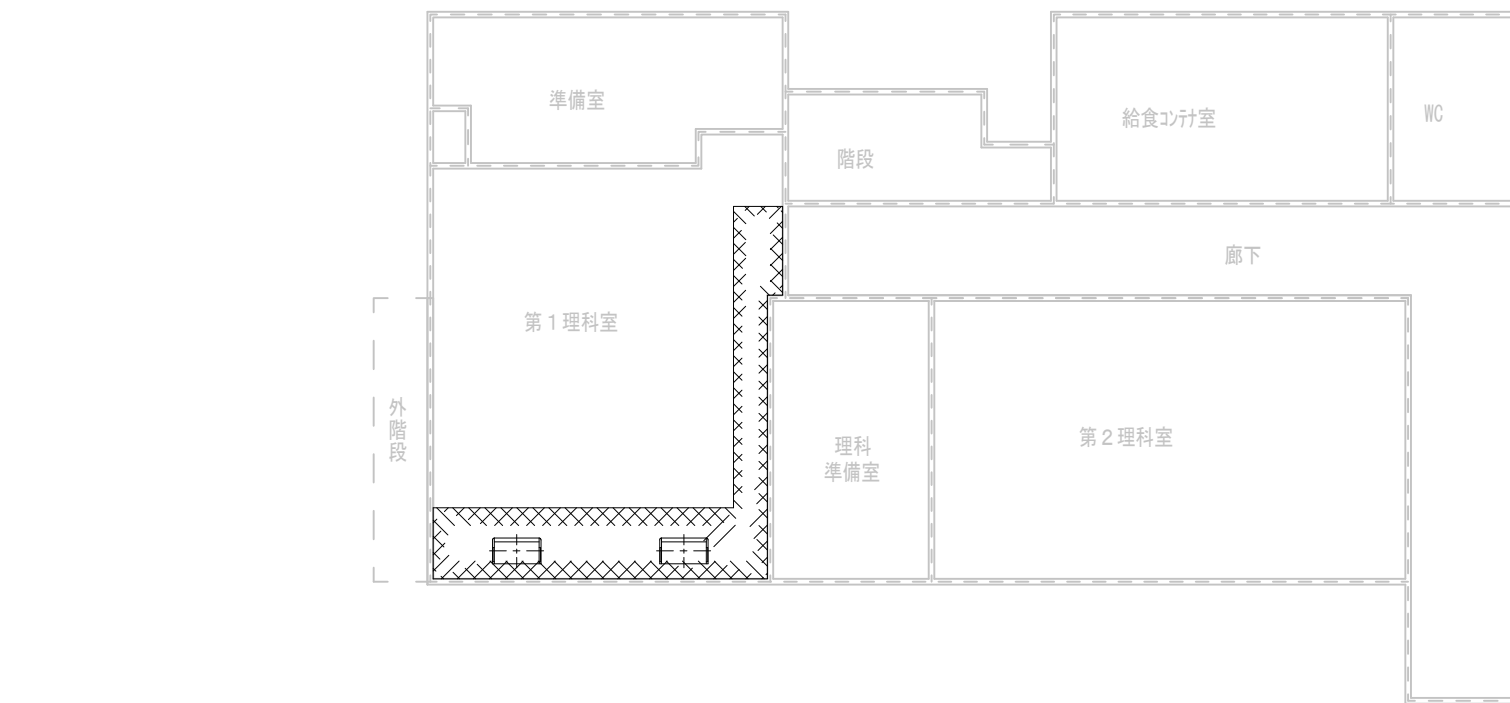
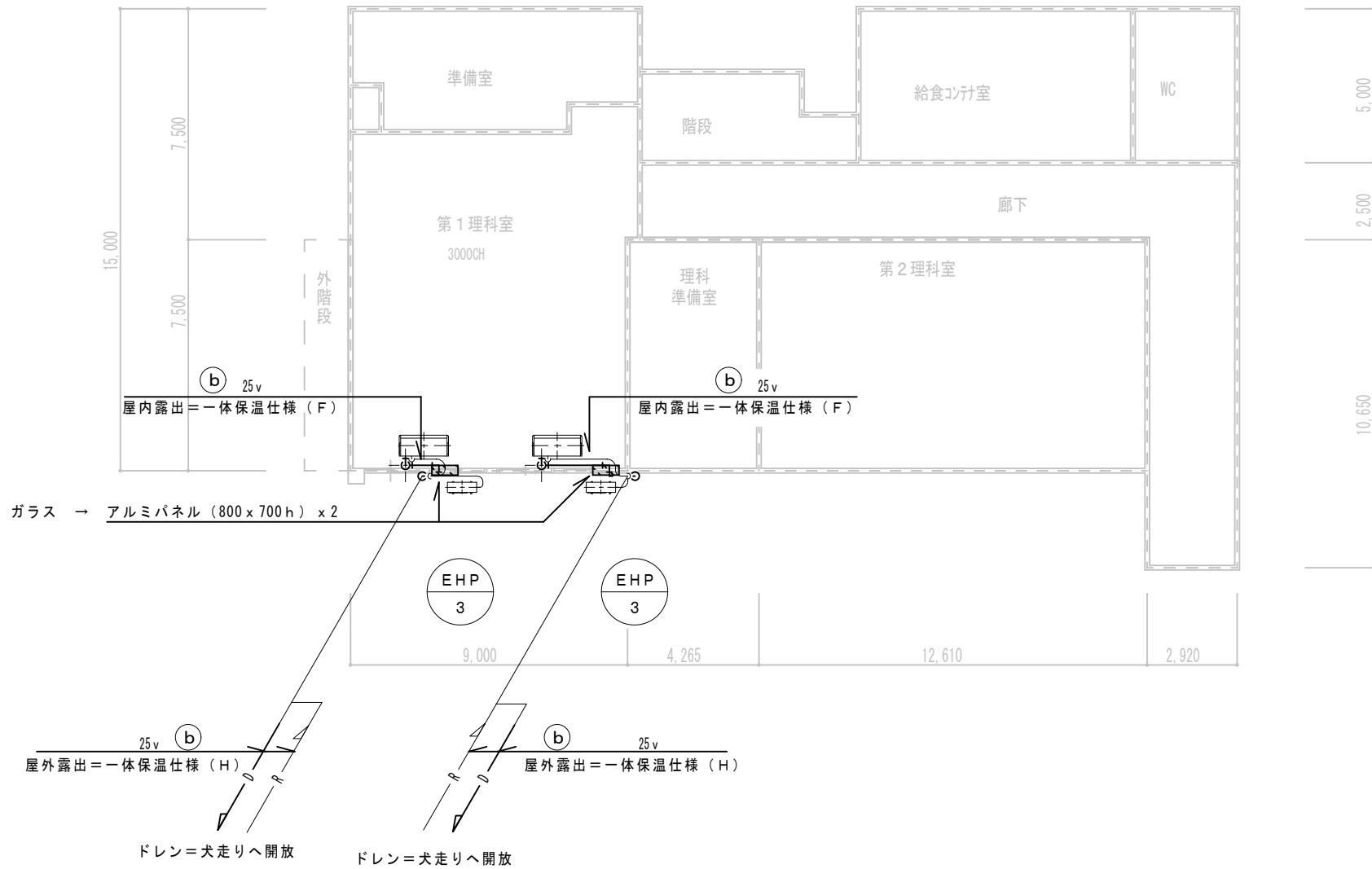
\* 給水・給湯管についてはグラスウール保温厚を 25mm以上とする。

■ 工事区分

工事区分 該当する区別欄に ●印を記入のこと	工事項目	区分		備考
		建築	電気	
	1 鉄骨梁の貫通スリーブ			
	2 R C壁の機械ハツリ(ダイヤモンドカッター)	●		
	3 スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強			
	4 躯体壁・床の穴明け及び構造体補強			
	5 重量設備機器のための床構造補強			
	6 壁掛エアコン取付の下地補強	●		
	7 天井穴明け及び下地補強	●		
	8 設備機器の基礎及び仕上	●		
	9 天井点検口の取付及び補強工事	●		
	10 空調用屋内外機器間配線工事	●		


特記事項

- 施工に当たり、既存設備の取り合い及び配管等を十分調査し 撤去又は改修を行う事。  
現場の納まり又は取り合い等で生じる機器及び器具、 取り付け位置及び取り付け方法の変更は 係員の指示によって行う。
- 現場養生、清掃は 本工事とする。
- 天井、壁取外し、再取付け及び改修は、本工事とする。
- R C壁を、コア抜きをする場合は 鉄筋簡易検査を行う事。
- アスベスト検査費用は、本工事とする。  
(処理費は、協議により計画する。)

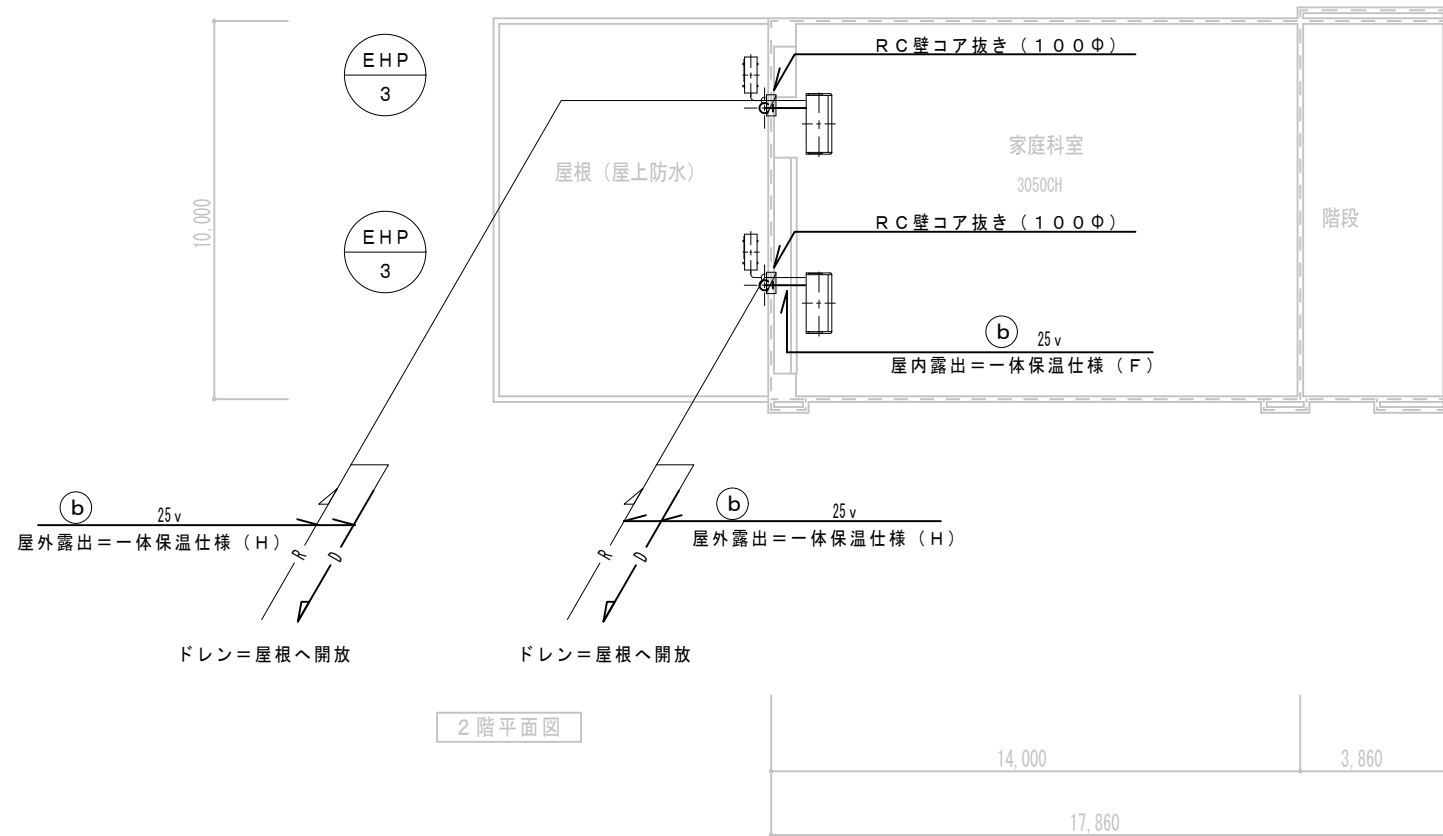


記号	配管サイズ
ⓐ	6.35 / 12.7
ⓑ	9.52 / 15.88
Ⓡ	ワイヤレスリモコン
ⓧ	RC壁コア抜き (本工事)

凡例


- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管 (硬質塩化ビニル管) は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強: 構造合板 (1000 x 300 x 18 t)
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲: 機器取付及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分 (復旧、撤去材処分共) の施工後の清掃、片付け
- \*  床養生部分 (清掃、片付け共)

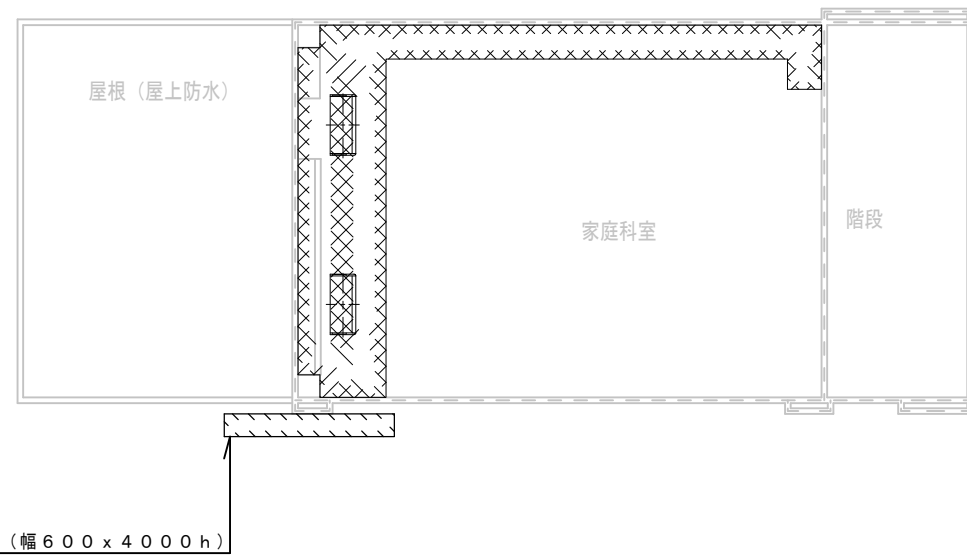


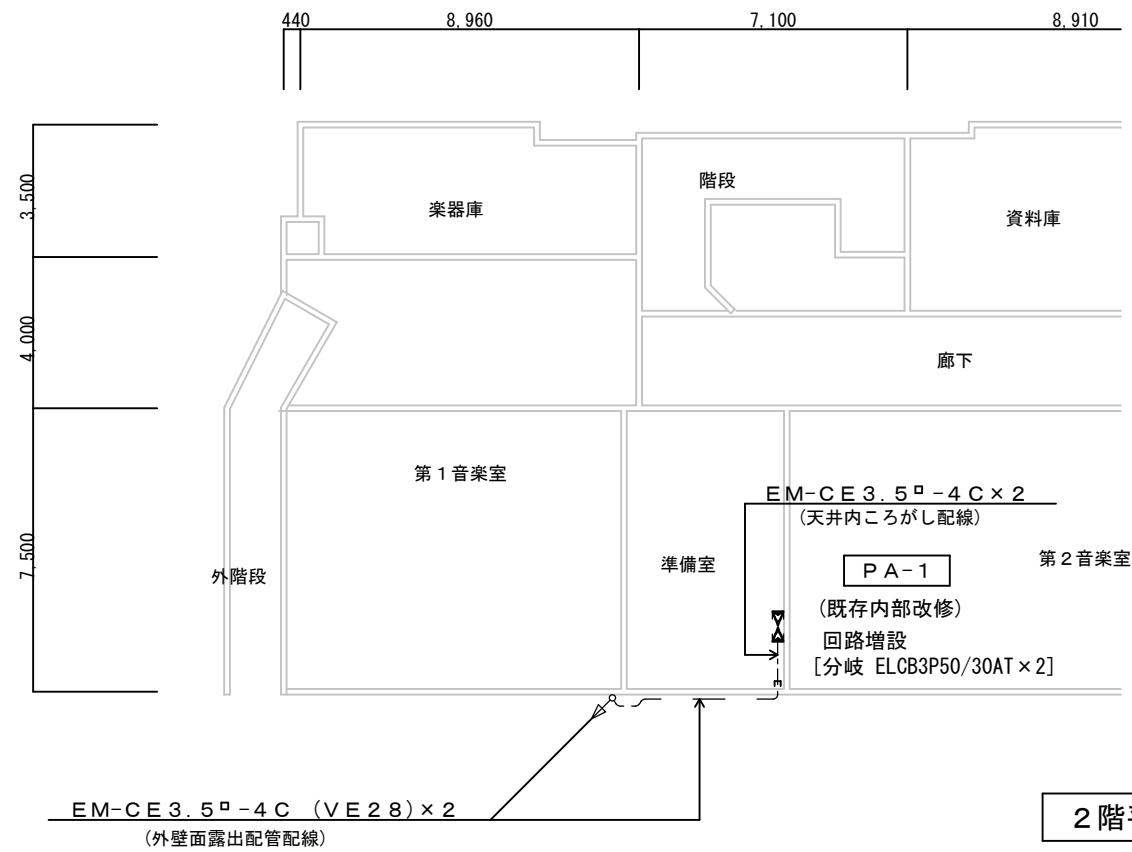


記号	配管サイズ
ⓐ	6.35 / 12.7
ⓑ	9.52 / 15.88
Ⓡ	ワイヤレスリモコン
⊠	RC壁コア抜き (本工事)

凡例

- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管 (硬質塩化ビニル管) は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強: 構造合板 (1000 x 300 x 18 t)
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲: 機器取付及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分 (復旧、撤去材処分共) の施工後の清掃、片付け
- \*  床養生部分 (清掃、片付け共)





2階平面図

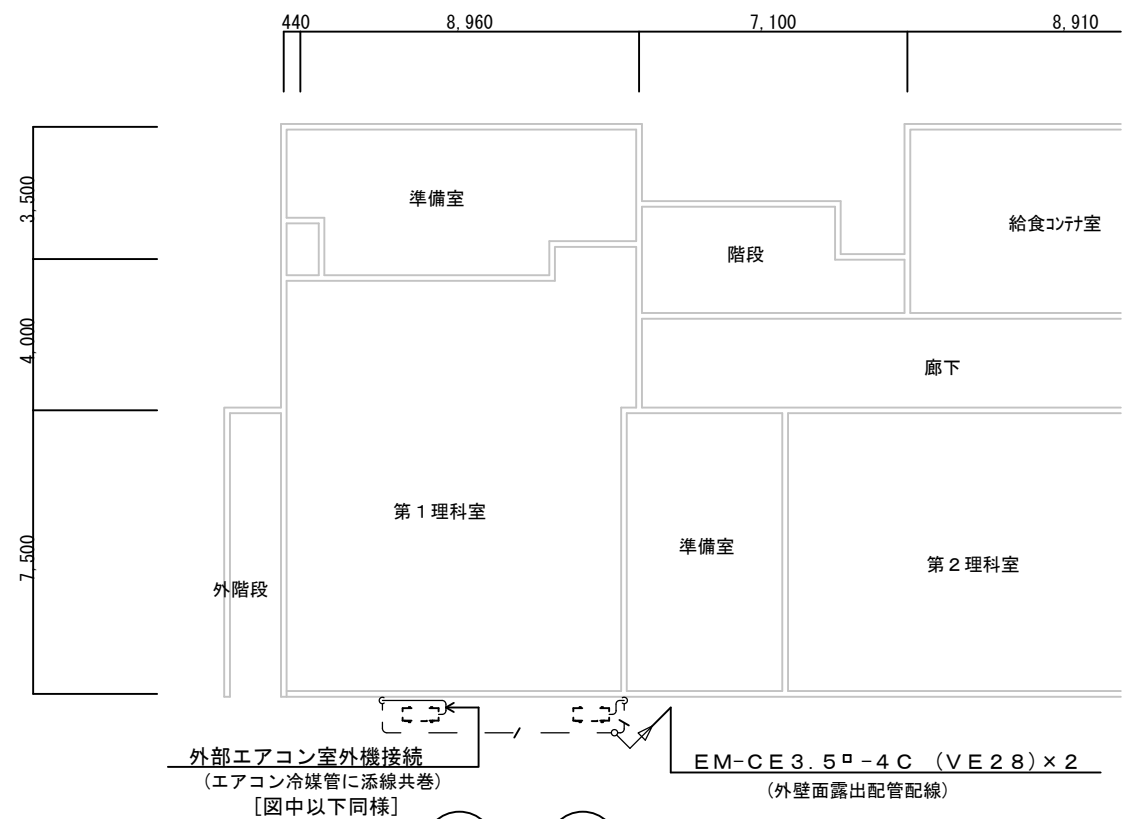
[注記]

1. 図中記入なき配線は下記による。

— / — EM-CE 3.5<sup>□</sup>-4C (VE28)

2. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし

本工事内にて適宜に処理すること。



1階平面図

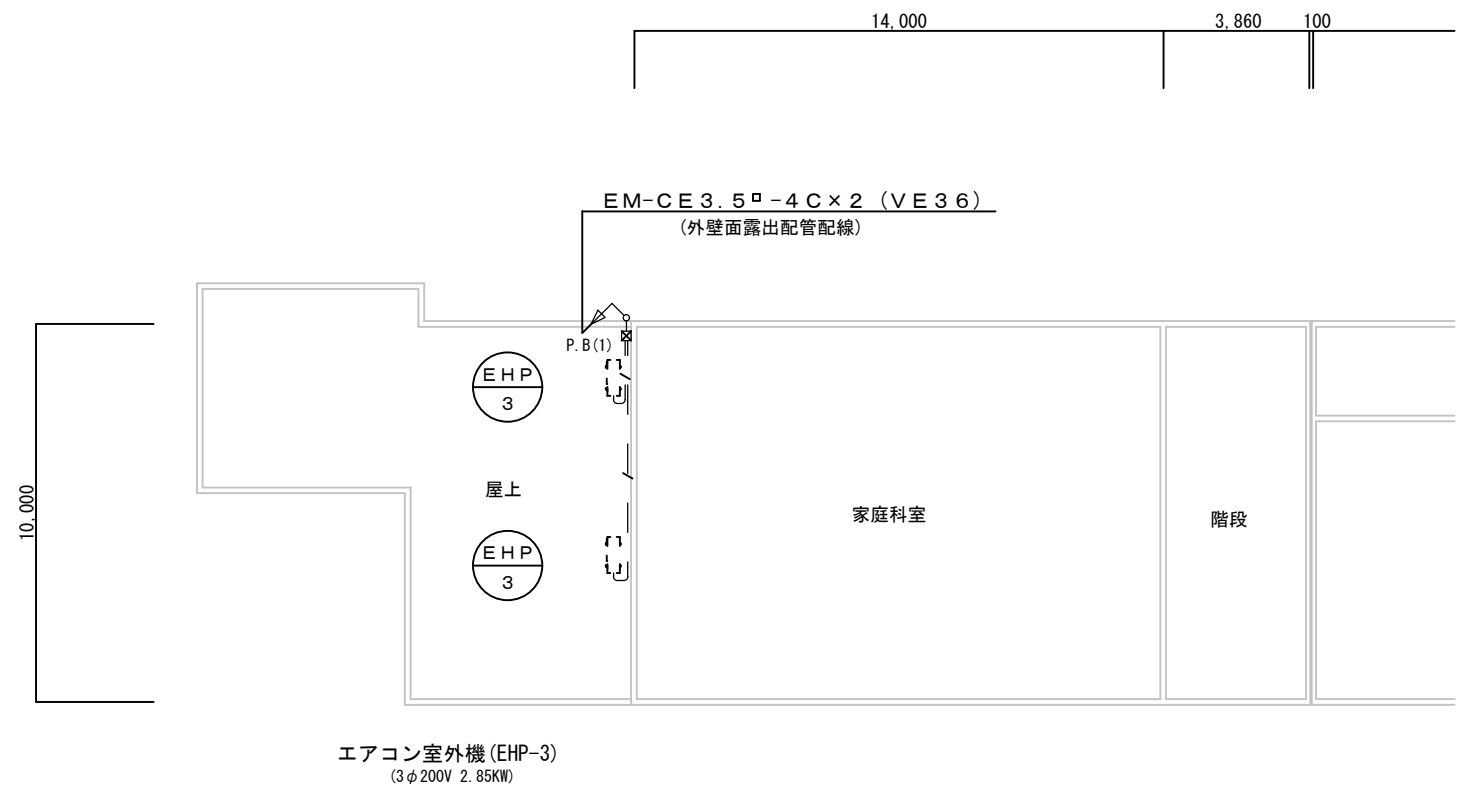


エアコン室外機 (EHP-3)  
(3φ200V 2.85KW)

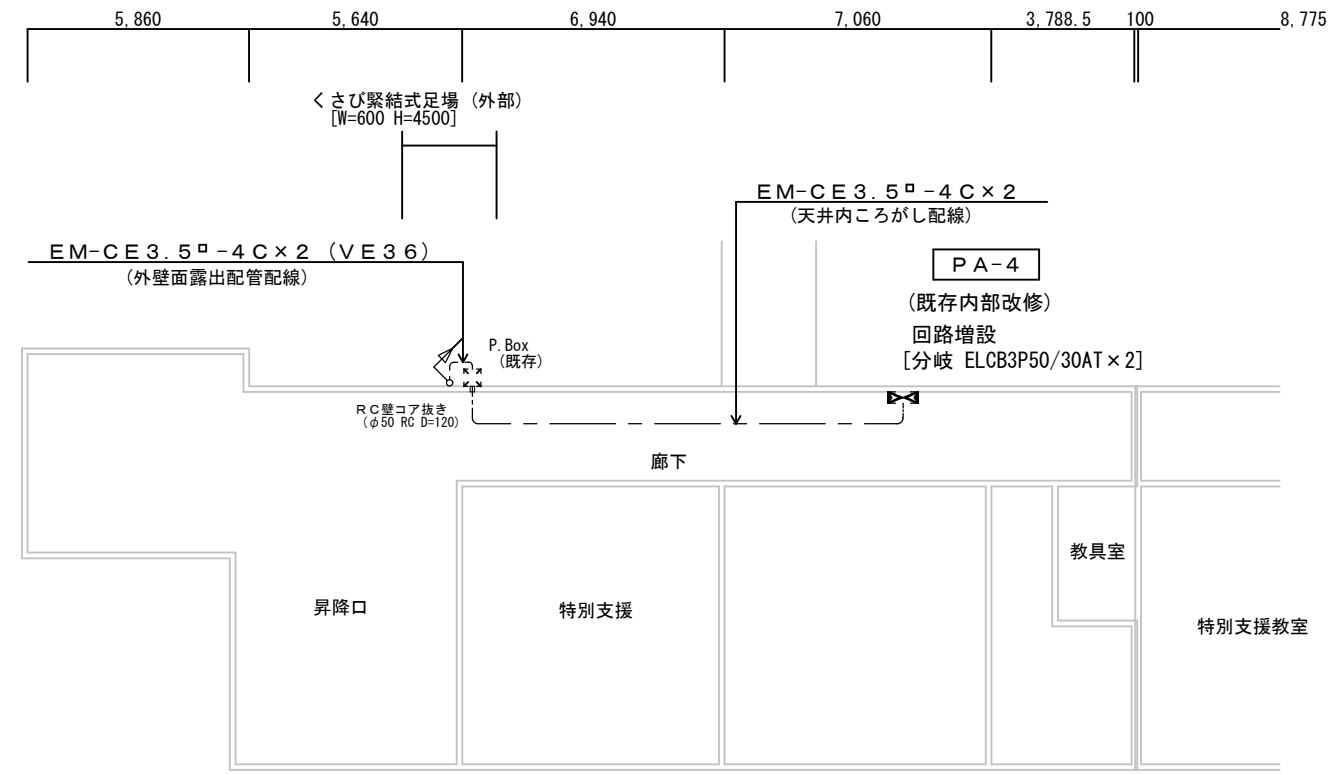
くさび緊結式足場 (犬走り)  
[W=600 H=2500]

くさび緊結式足場 (犬走り)  
[W=600 H=5000]





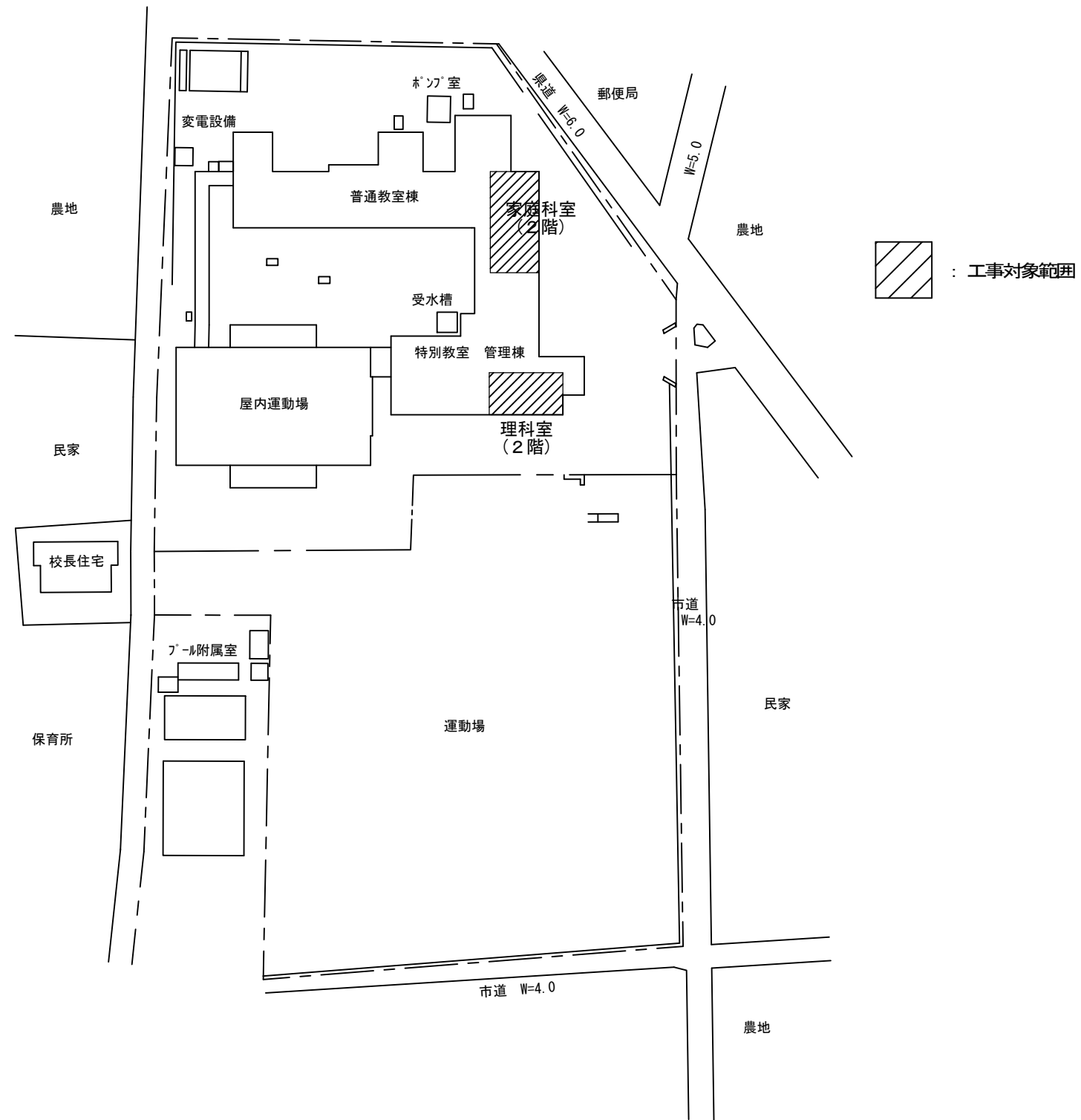
2階平面図



1階平面図

- [注記]
1. 図中記入なき配線は下記による。  
 - / - EM-CE 3.5 ㎡ - 4 C (VE 28)
  2. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし  
 本工事内にて適宜に処理すること。
- [凡例]
- ☒ P.B(1) プルボックス SS 200×200×150 WP-V





上田市都市建設部建築課

設計年度  
R-08

Atelier Hues of the Wind  
一級建築士事務所  
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号  
名称 有限会社 設計工房風の色  
住所 上田市真田町本原2113-1  
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士  
国土交通大臣登録  
第187506号  
飯島康男

工事名  
図名

小学校特別教室空調設備設置工事  
塩川小学校 配置図

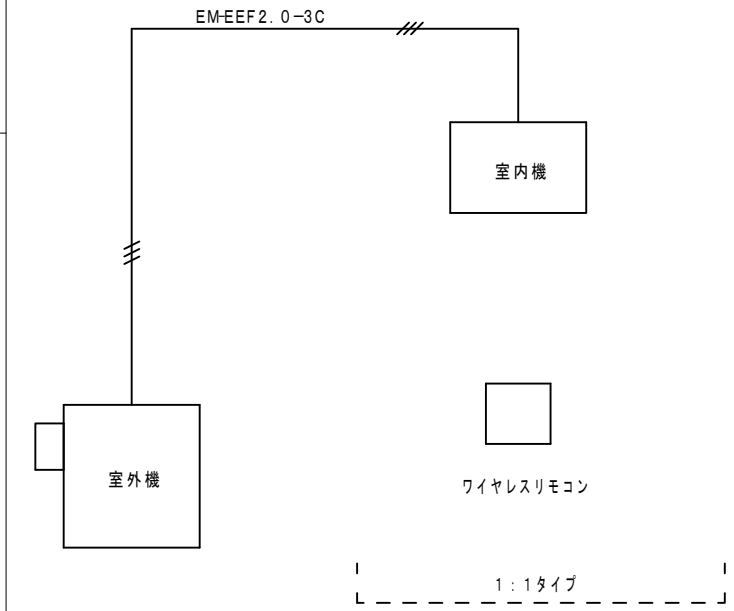
SCALE  
1/1000

NO.  
M-01 塩川

機器表 2

\* EHPについては、『建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件の一部改正する告示（平成24年1447号）』により固定を行う事。

番号	名称	参考型番	数量	機器仕様	電源			設置場所
					φ	V	空調=KW	
EHP-1	店舗・オフィスエアコン	PCZ-ERMP80SKL5 (三菱)	5	天吊形 人感センサー 冷房能力=7.1(1.8~8.0)KW 暖房能力=8.0(2.0~10.2)KW ワイヤレスリモコン  他標準附属品  圧縮機:1.6KW 室内機外形寸法=230h x 1280 x 680(32Kg) 室外機外形寸法=740h x 950 x 330(56Kg) 鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ) 防振パット	1	200	冷:2.32 暖:2.51 (標準) 暖:2.92 (低温)	家庭科 理科
	RC基礎	L450-100 (昭和コーポレーション)	10	RC製(タイガーベース):450x(80/100)x100h				



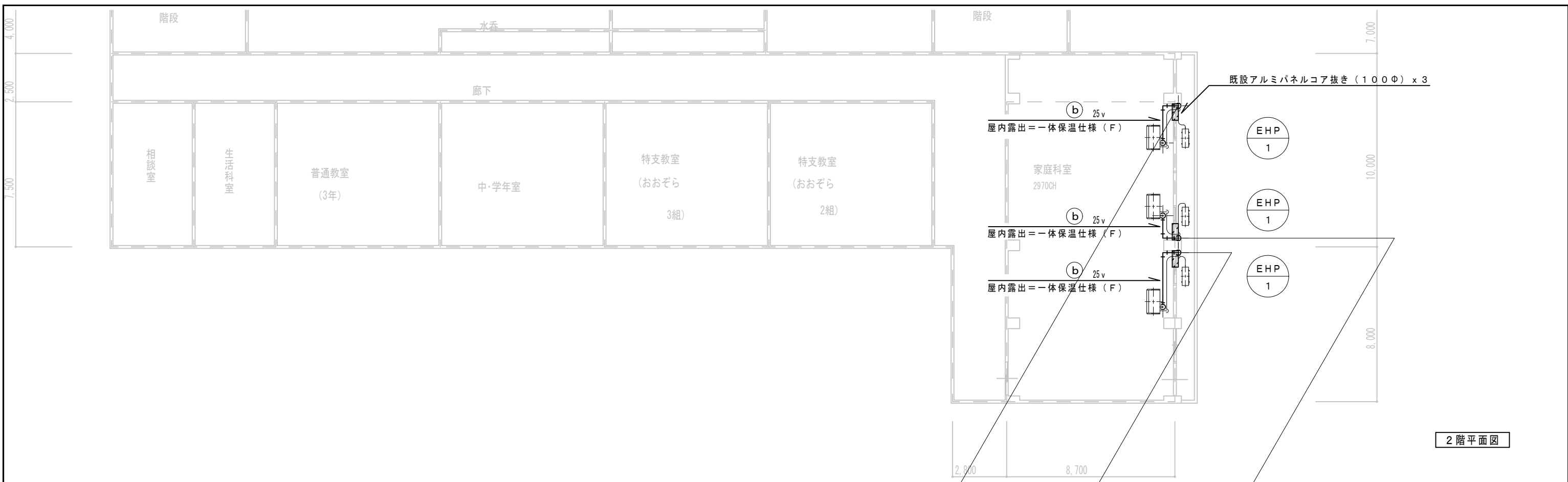
■ 使用配管材		給水管	屋外排水	給湯管	ガス管	冷媒管	ドレン管	冷温水管	給油管	消火管
配管材料 該当する区別欄に ●印を記入のこと										
水道用ポリエチレン管	JISK-6762									
硬質塩化ビニル管	VP JISK-6741					●				
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HivpJHWA-K118									
ポリブデン管	JIS K6792 JIS K6778									
耐熱性塩化ビニル管	HTVP									
水道用塩化ビニルライニング鋼管	(黒) JWVA K-116VA (白) (VB) (白) (VD)									
耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	HTLP WHTLP									
配管用炭素鋼鋼管	(黒) JIS G-3452 (白) "									
鋼継目無鋼管	L JIS H-3300 M "									
冷媒用被覆鋼管	国土交通省標準仕様適合品					●				
ACドレンパイプ	空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管									

■ 配管保温防露仕様		屋内隠ぺい	屋内露出	機械室	屋外露出
仕様					
1 給水管					
2 排水管					
3 給湯管					
4 消火管					
5 冷温水管					
6 冷媒管			F		H
7 ガス管					
8 給油管					
9 ドレン管			F		H
A ワンタッチ式ポリエチレンフォーム					屋内隠ぺい
B グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔					屋内隠ぺい
C グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網					屋内隠ぺい
D グラスウール保温帯+鉄線+原紙+(アルミガラスクロス)					屋内露出
E グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網+ヒーター					屋内露出
F グラスウール保温帯+鉄線+合成樹脂カバー					屋内露出
G グラスウール保温帯+鉄線(ガラスクロス)					屋内露出
H グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+SU5鋼板					屋外露出
I グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
J 発泡プラスチック保温帯+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
K グラスウール保温帯+カラー鉄板+ヒーター巻					屋外露出
L グラスウール保温帯+鉄線+アスファルトルーフィング+アスファルトジュートテープ+アスファルトプライマー					埋設
M グラスウール保温材+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス					ビット
*給水・給湯管についてはグラスウール保温厚を25mm以上とする。					

■ 工事区分		区分				備考
工事区分 該当する区別欄に ●印を記入のこと	工事項目	建築	機械	電気	別途	
		1	鉄骨梁の貫通スリーブ			
2	RC壁の機械ハツリ(ダイヤモンドカッター)	●				
3	スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強					
4	躯体壁・床の穴明け及び構造体補強					
5	重量設備機器のための床構造補強					
6	壁掛エアコン取付の下部補強	●				
7	天井穴明け及び下部補強	●				
8	設備機器の基礎及び仕上	●				
9	天井点検口の取付及び補強工事	●				
10	空調用屋内外機器間配線工事	●				

特記事項

- 施工に当たり、既存設備の取り合い及び配管等を十分調査し 撤去又は改修を行う事。  
現場の納まり又は取り合い等で生じる機器及び器具、取り付け位置及び取り付け方法の変更は係員の指示によって行う。
- 現場養生・清掃は 本工事とする。
- 天井・壁取外し・再取付け及び改修は、本工事とする。
- RC壁を、コア抜きをする場合は 鉄筋簡易検査を行う事。
- アスベスト検査費用は、本工事とする。  
(処理費は、協議により計画する。)




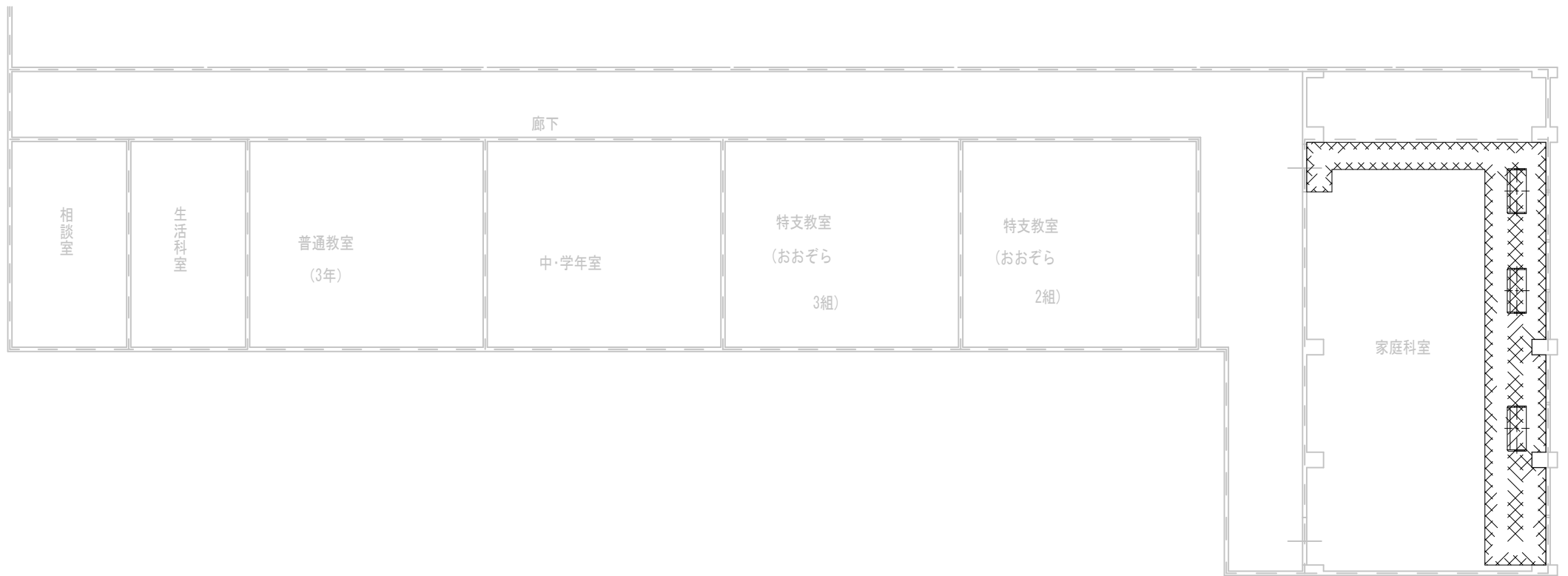
2階平面図

記号	配管サイズ
ⓐ	6.35 / 12.7
ⓑ	9.52 / 15.88
Ⓡ	ワイヤレスリモコン
⊠	RC壁コア抜き (本工事)

凡例


- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管 (硬質塩化ビニル管) は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強: 構造合板 (1000 x 300 x 18 t)
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲: 機器取付及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分 (復旧、撤去材処分共) の施工後の清掃、片付け

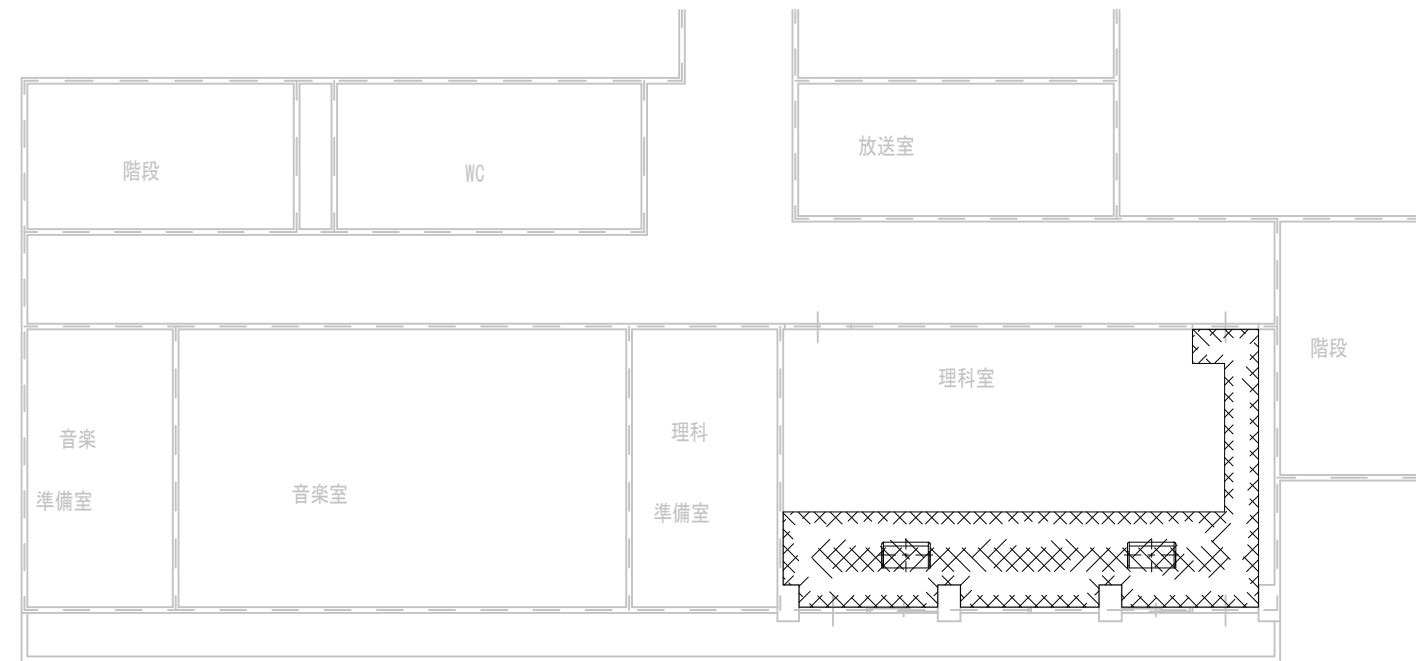
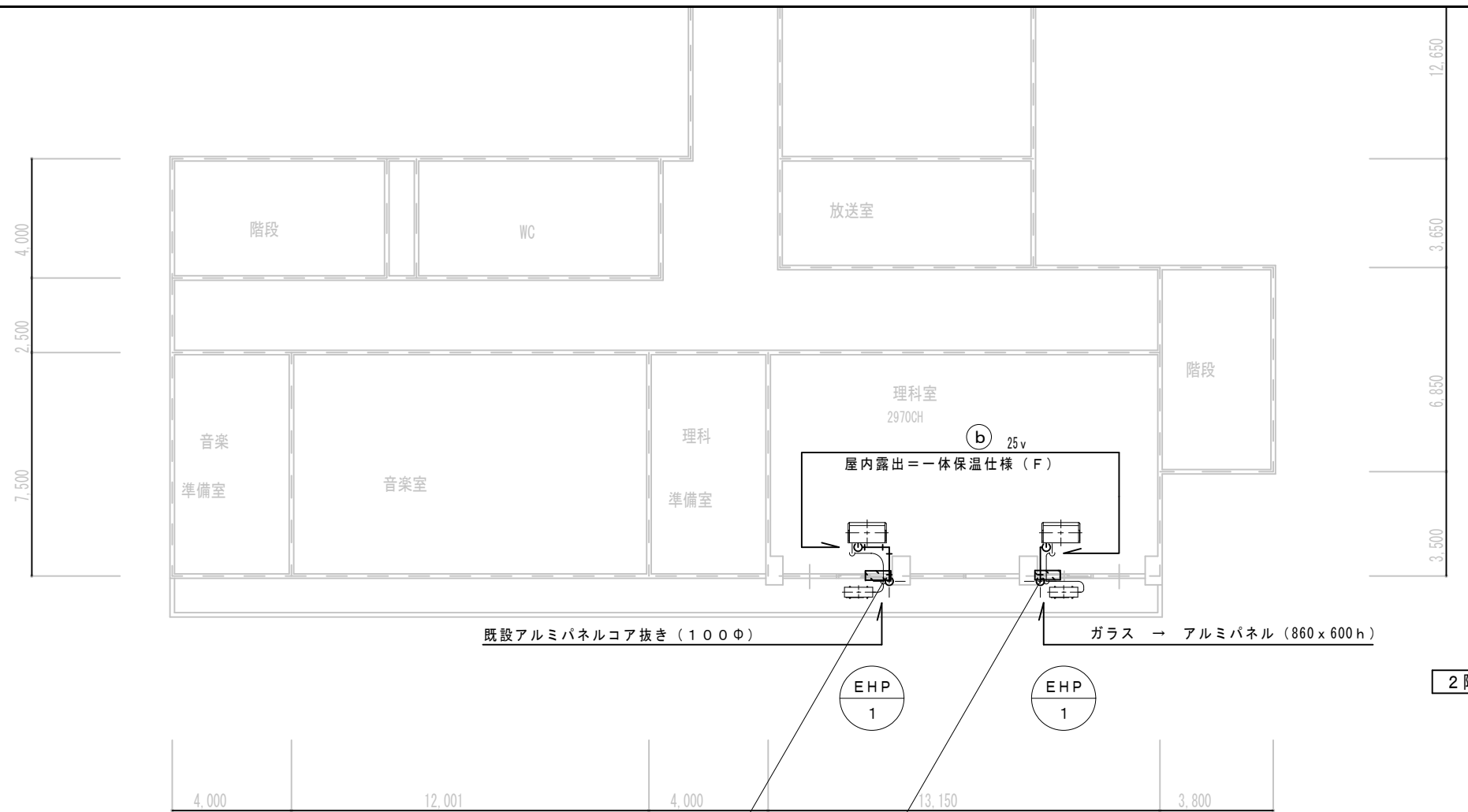
\*  床養生部分 (清掃、片付け共)



記号	配管サイズ
ⓐ	6.35 / 12.7
ⓑ	9.52 / 15.88
Ⓡ	ワイヤレスリモコン
⊠	R/C壁コア抜き(本工事)

凡例

- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管(硬質塩化ビニル管)は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強: 構造合板(1000 x 300 x 18 t)
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲: 機器取付及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分(復旧、撤去材処分共)の施工後の清掃、片付け
- \*  床養生部分(清掃、片付け共)

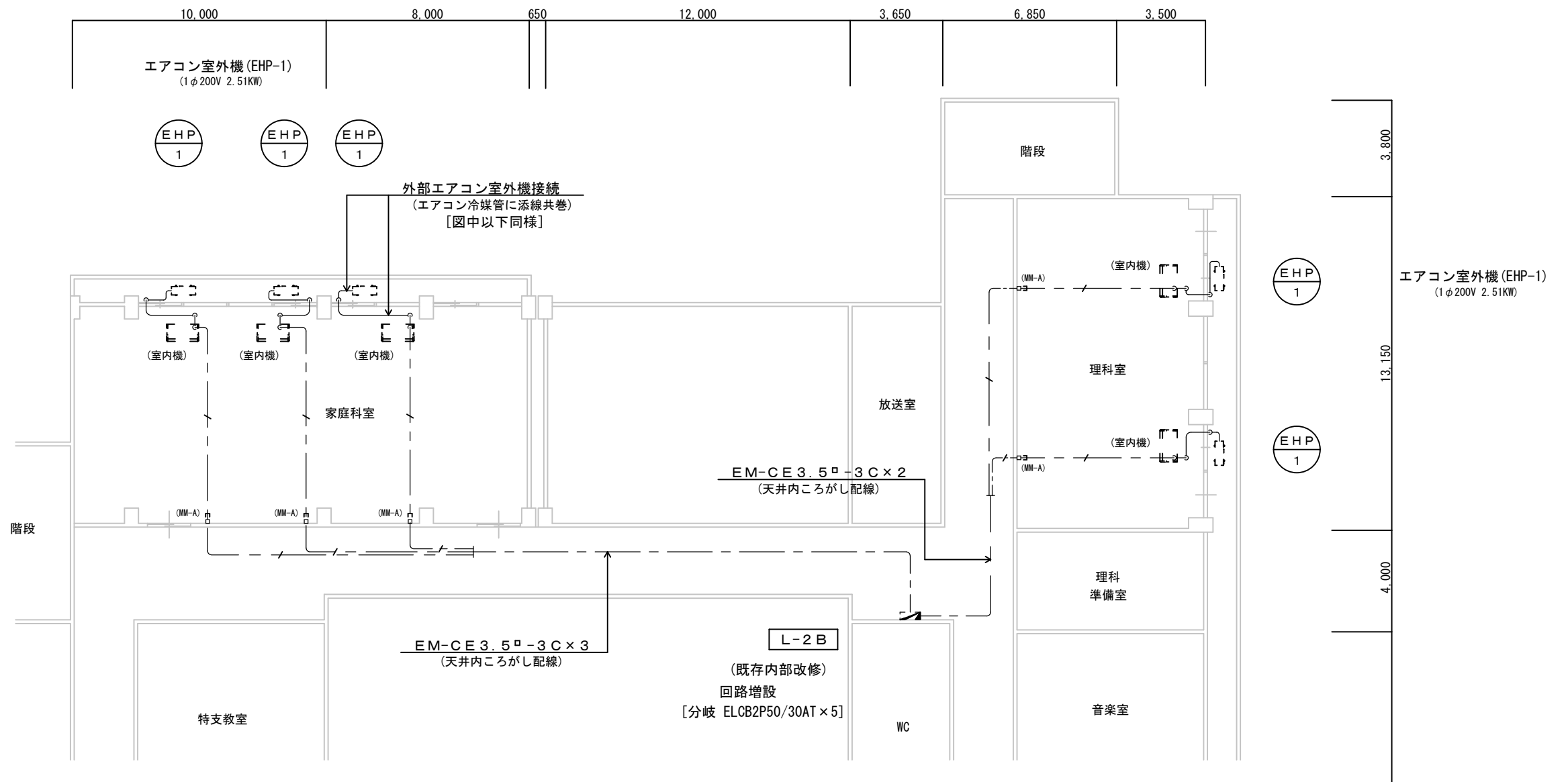


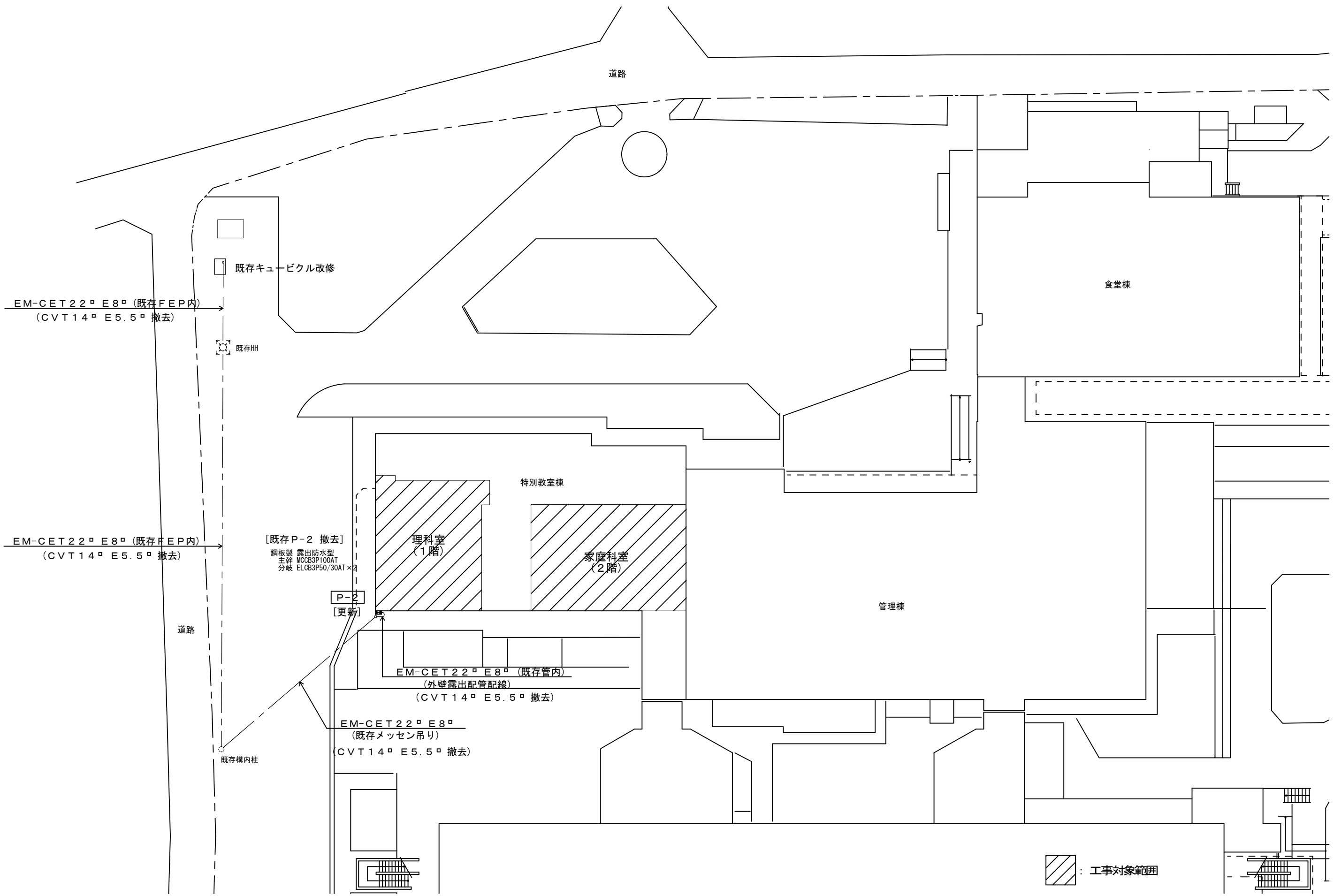
[注記]


1. 図中記入なき配線は下記による。

— / — EM-CE 3.5<sup>□</sup>-3C

2. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし  
本工事内にて適宜に処理すること。



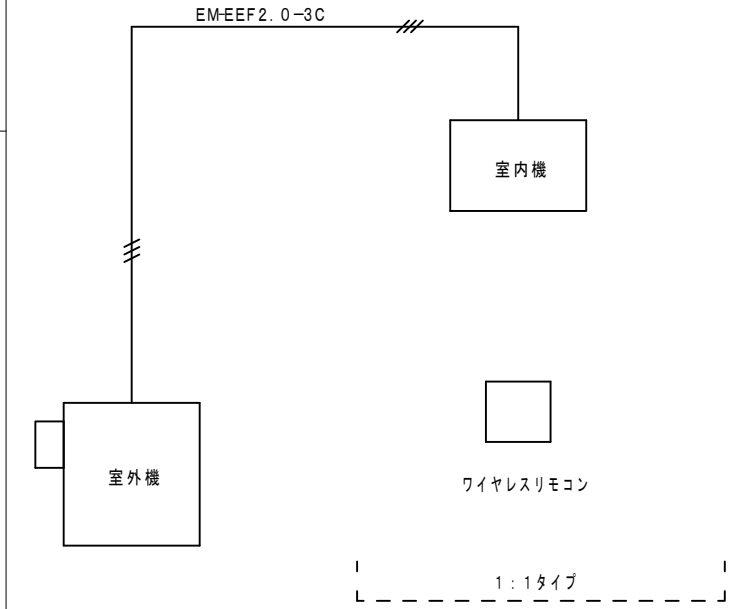


 上田市都市建設部建築課	設計年度 R-08	設計事務所 Atelier Hues of the Wind 一級建築士事務所 有限会社 設計工房風の色	設計事務所 長野県知事登録 名称 住所 代表者 長野県知事登録 (上田)E第74101号 有限会社 設計工房風の色 上田市真田町本原2113-1 飯島康男	設計者 1級建築士 国土交通大臣登録 第187506号 飯島康男	工事名 図名 小学校特別教室空調設備設置工事 武石小学校 配置図	SCALE 1/300	NO. M-01 武石

機器表 2

\* EHPについては、『建築設備の構造体力上安全な構造方法を定める件の一部改正する告示（平成24年1447号）』により固定を行う事。

番号	名称	参考型番	数量	機器仕様	電源			設置場所
					φ	V	空調=KW	
EHP-3	店舗・オフィスエアコン	PCZ-ERMP112KL5 (三菱)	4	天吊形 人感センサー 冷房能力=10.0(4.3~11.2)KW 暖房能力=11.2(4.8~14.0)KW ワイヤレスリモコン 圧縮機:1.6KW 室内機外形寸法=230h x 1600 x 680(38Kg) 室外機外形寸法=1018h x 950 x 330(67Kg) 鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ)	3	200	冷:2.72 暖:2.85 (標準) 暖:5.87 (低温)	家庭科 理科
	RC基礎	L450-100 (昭和コーポレーション)	8	RC製(タイガーベース):450x(80/100)x100h				



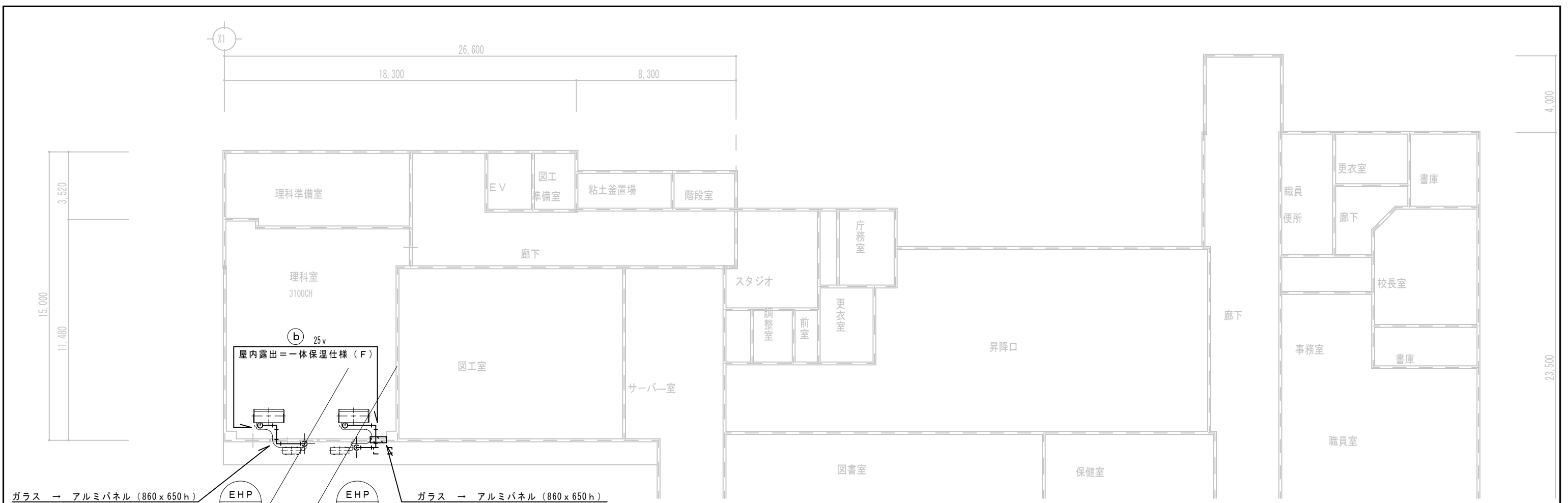
■ 使用配管材		給水管	屋外排水	給湯管	ガス管	冷媒管	ドレン管	冷温水管	給油管	消火管
配管材料 該当する区別欄に ●印を記入のこと										
水道用ポリエチレン管	JISK-6762									
硬質塩化ビニル管	VP JISK-6741					●				
水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HivpJHWA-K118									
ポリブデン管	JIS K6792 JIS K6778									
耐熱性塩化ビニル管	HTVP									
水道用塩化ビニルライニング鋼管	(黒) JWVA K-116VA (白) (VB) (白) (VD)									
耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	HTLP WHTLP									
配管用炭素鋼鋼管	(黒) JIS G-3452 (白) "									
鋼継目無鋼管	L JIS H-3300 M "									
冷媒用被覆鋼管	国土交通省標準仕様適合品					●				
ACドレンパイプ	空調用結露防止層付硬質塩化ビニル管									

■ 配管保温防露仕様		屋内隠ぺい	屋内露出	機械室	屋外露出
仕様					
1 給水管					
2 排水管					
3 給湯管					
4 消火管					
5 冷温水管					
6 冷媒管			F		H
7 ガス管					
8 給油管					
9 ドレン管			F		H
A ワンタッチ式ポリエチレンフォーム					屋内隠ぺい
B グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔					屋内隠ぺい
C グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網					屋内隠ぺい
D グラスウール保温帯+鉄線+原紙+(アルミガラスクロス)					屋内露出
E グラスウール保温帯+鉄線+アルミ箔+亀甲金網+ヒーター					屋内露出
F グラスウール保温帯+鉄線+合成樹脂カバー					屋内露出
G グラスウール保温帯+鉄線(ガラスクロス)					屋内露出
H グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+SU5鋼板					屋外露出
I グラスウール保温帯+鉄線+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
J 発泡プラスチック保温帯+粘着テープ+ポリエチレンフィルム+カラー鉄板					屋外露出
K グラスウール保温帯+カラー鉄板+ヒーター巻					屋外露出
L グラスウール保温帯+鉄線+アスファルトルーフィング+アスファルトジュートテープ+アスファルトプライマー					埋設
M グラスウール保温材+鉄線+ポリエチレンフィルム+着色アルミガラスクロス					ビット
*給水・給湯管についてはグラスウール保温厚を25mm以上とする。					

■ 工事区分		区分				備考
工事区分 該当する区別欄に ●印を記入のこと	工事項目	建築	機械	電気	別途	
		1	鉄骨梁の貫通スリーブ			
2	RC壁の機械ハツリ(ダイヤモンドカッター)		●			
3	スリーブ・開口部廻りの鉄筋補強					
4	躯体壁・床の穴明け及び構造体補強					
5	重量設備機器のための床構造補強					
6	壁掛エアコン取付の下部補強		●			
7	天井穴明け及び下部補強		●			
8	設備機器の基礎及び仕上		●			
9	天井点検口の取付及び補強工事		●			
10	空調用屋内外機器間配線工事		●			

特記事項


- 施工に当たり、既存設備の取り合い及び配管等を十分調査し 撤去又は改修を行う事。  
現場の納まり又は取り合い等で生じる機器及び器具、取り付け位置及び取り付け方法の変更は係員の指示によって行う。
- 現場養生・清掃は 本工事とする。
- 天井・壁取外し・再取付け及び改修は、本工事とする。
- RC壁を、コア抜きをする場合は 鉄筋簡易検査を行う事。
- アスベスト検査費用は、本工事とする。  
(処理費は、協議により計画する。)

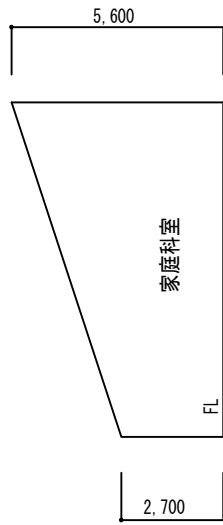


1階平面図

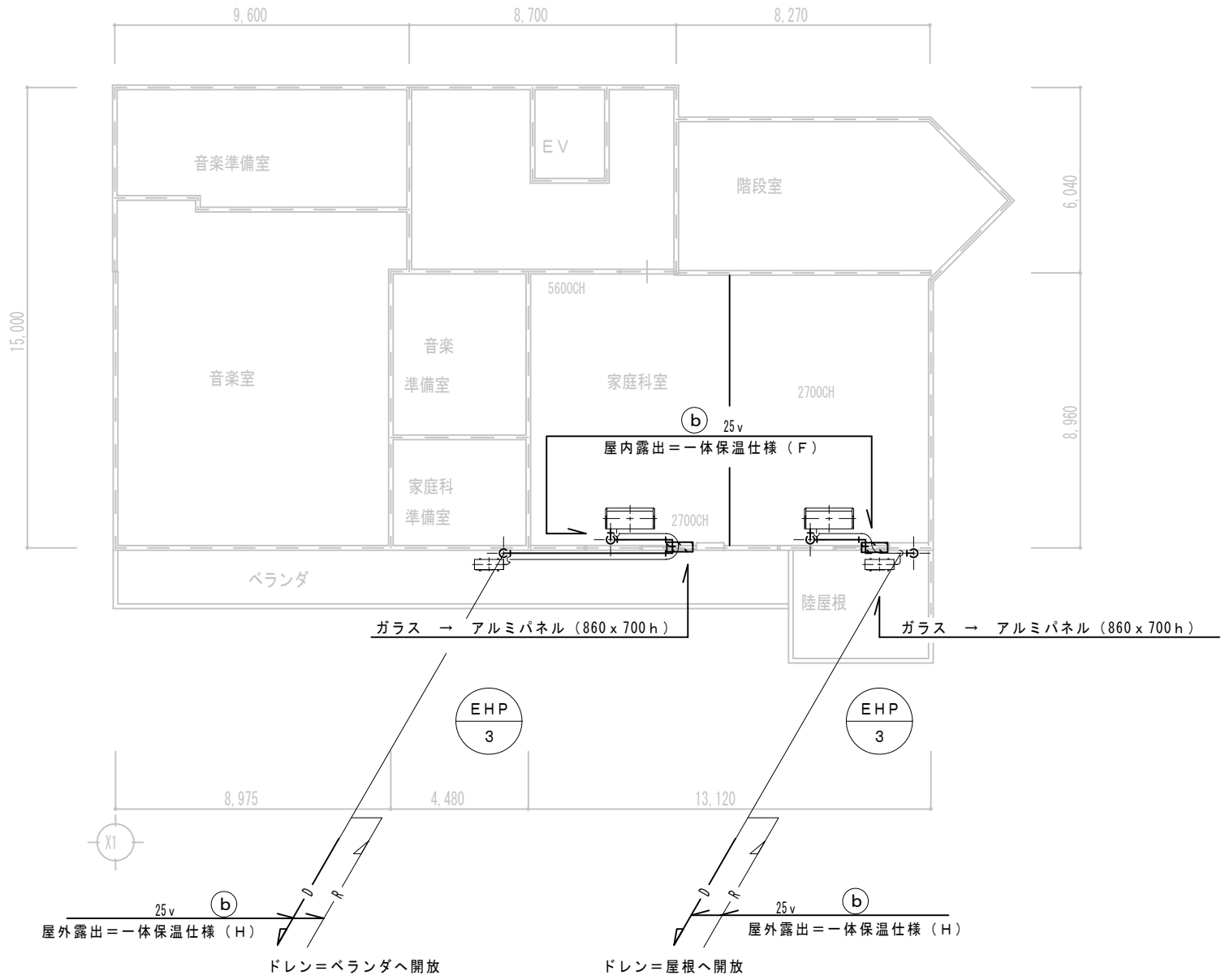
記号	配管サイズ
ⓐ	6.35 / 12.7
ⓑ	9.52 / 15.88
Ⓡ	ワイヤレスリモコン
ⓧ	RC壁コア抜き (本工事)

凡例

- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管 (硬質塩化ビニル管) は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 室内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強：構造合板 (1000 x 300 x 18 t)
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲：機器取付及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分 (復旧、撤去材処分共) の施工後の清掃。片付け
- \*  床養生部分 (清掃、片付け共)




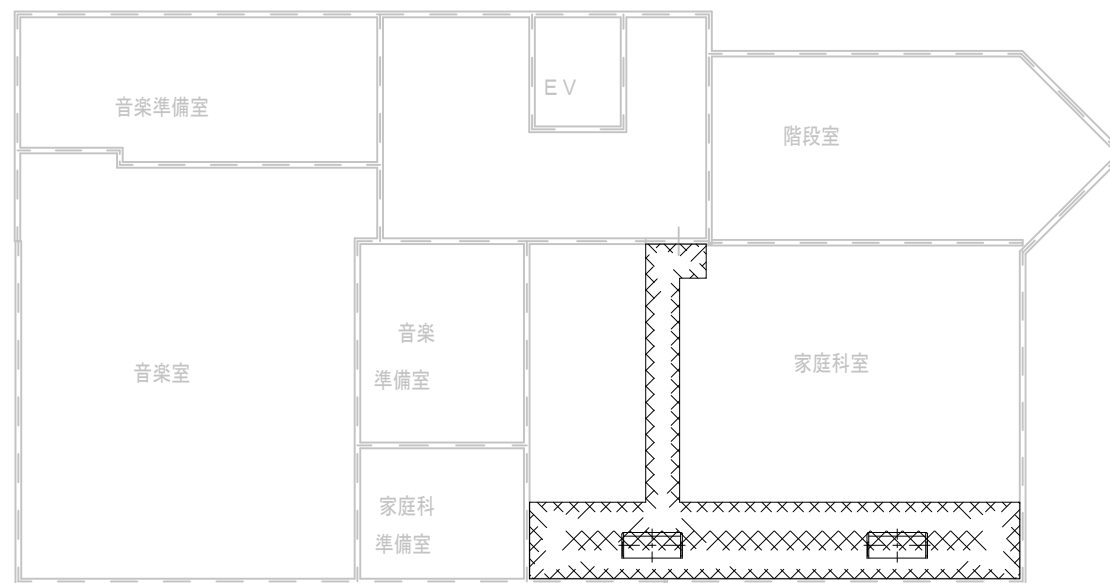
2階平面図



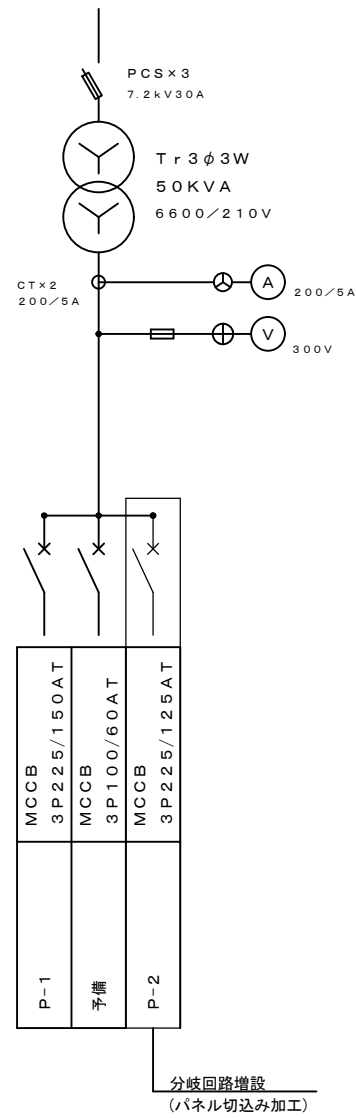
記号	配管サイズ
ⓐ	6.35 / 12.7
ⓑ	9.52 / 15.88
Ⓡ	ワイヤレスリモコン
⊠	RC壁コア抜き (本工事)

凡例

- \* 屋内露出冷媒管保温は、合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内露出ドレン管 (硬質塩化ビニル管) は、保温+合成樹脂カバー仕上げとする。
- \* 屋内、屋外露出冷媒管及びドレン管保温は、一体仕上げとする。
- \* 機器取付けに伴う壁下地切断及補強は、本工事とする。  
壁補強: 構造合板 (1000 x 300 x 18 t)
- \* 室内、屋外部分は、脚立足場とする。
- \* 養生範囲: 機器取付け及び配管作業部分の床面
- \* 図示工事部分 (復旧、撤去材処分共) の施工後の清掃、片付け
- \*  床養生部分 (清掃、片付け共)

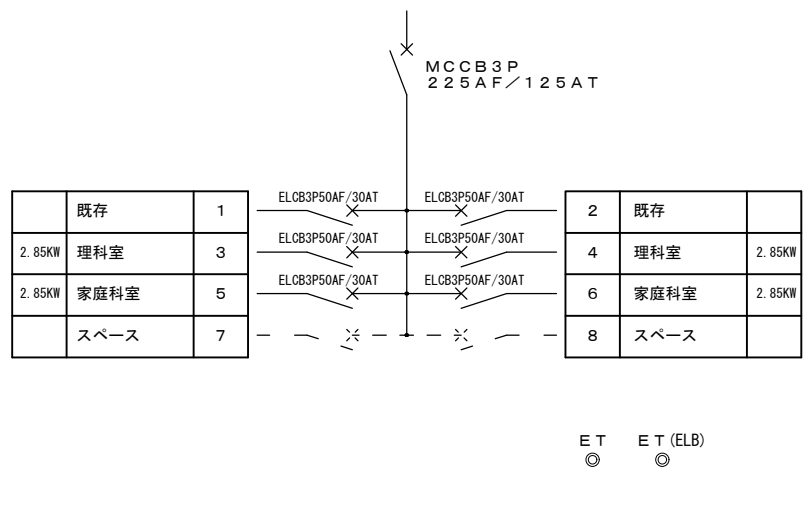


既存屋外キュービクル  
(2面体)



P-2

鋼板製 露出防水型 (メーカー標準仕様)



[注記]

1. 図中記入なき配線は下記による。

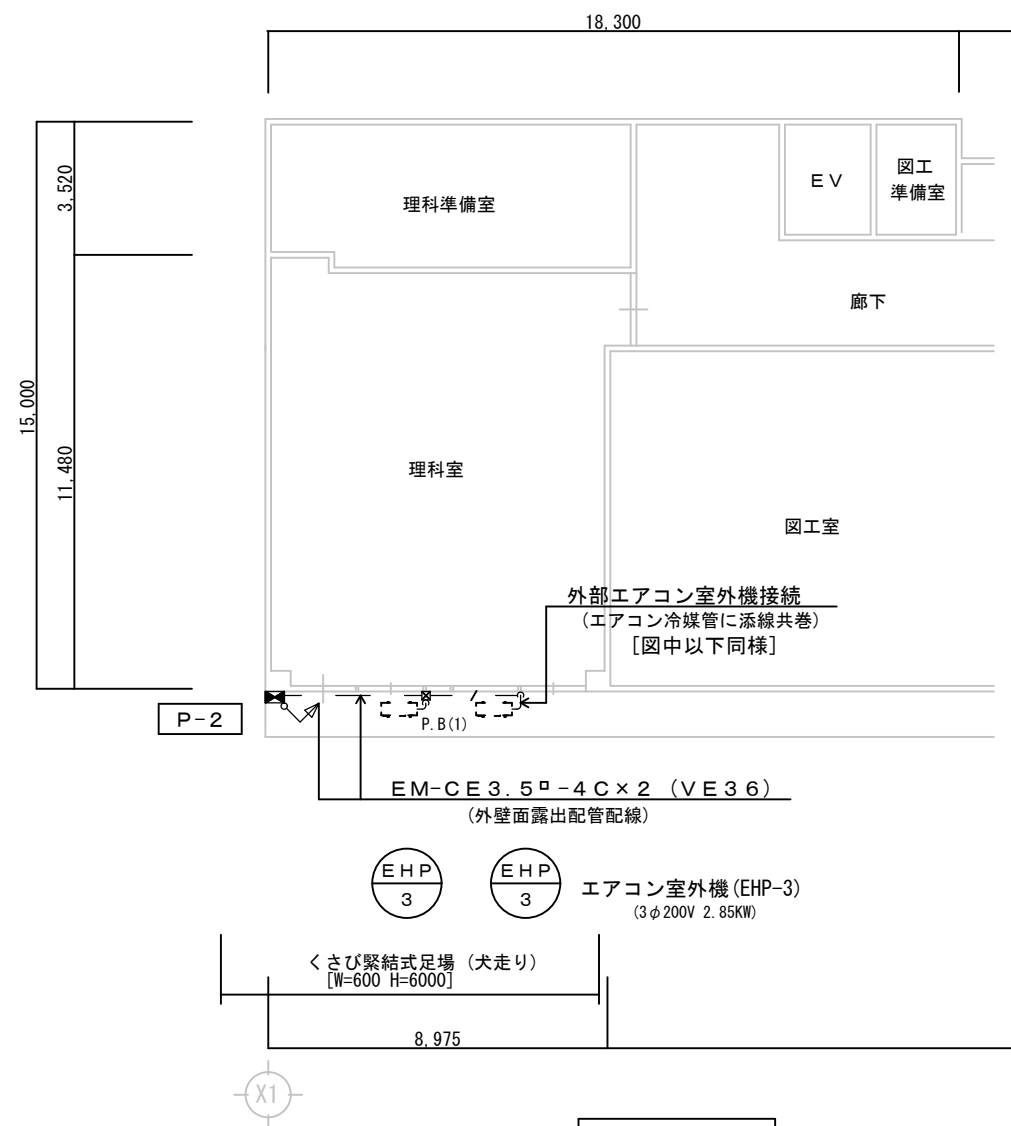
— / — EM-CE 3.5<sup>□</sup>-4C (VE28)

2. 設計図書と現場が不整合の場合は、係員の指示による事とし  
本工事内にて適宜に処理すること。

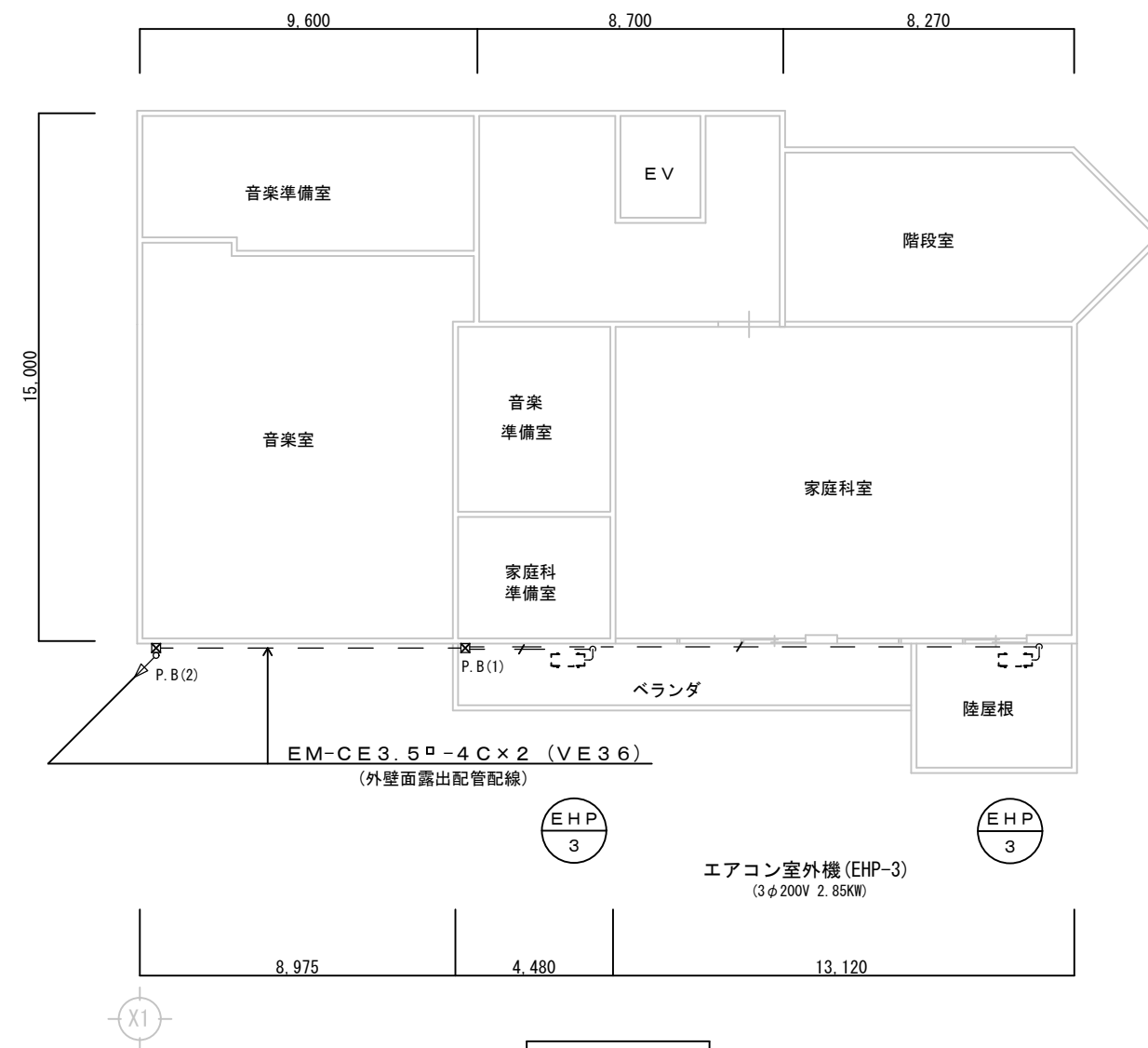
[凡例]

☒ P.B(1) プルボックス SS 200×200×150 WP-V

☒ P.B(2) プルボックス SS 200×200×200 WP-V



1階平面図



2階平面図

